

平成 22 年度決算付属資料

- I 主要な施策の成果に関する説明書
- II 基金の運用状況を示す書類

武蔵野市

I 平成 22 年度主要な施策の成果に関する説明書

地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、平成 22 年度における主要な施策の成果に関する説明書を提出します。

武蔵野市長 邑上守正

平成 22 年度は、歳入では、景気の低迷による個人所得の減少に伴い個人市民税が大きく減少したものの、固定資産税・都市計画税及び法人市民税が増加となり、市税全体では 0.4%の増加となりました。また、地方譲与税、株式等譲渡所得割、地方特例交付金等の国からの交付金、繰越金が減少となりましたが、国庫支出金、都支出金及び繰入金、市債等の増加があり、一般会計歳入総額では対前年度比 12 億 3,668 万円、2.0%増の 618 億 1,803 万円となりました。

歳出では、定額給付金終了に伴う補助費等の減少、小中学校の校舎耐震改修工事完了等による投資的経費の減少などがあるものの、子ども手当や生活保護法による扶助事業などの扶助費の増加、国民健康保険事業などへの繰出金の増加、国際交流平和基金積立金をはじめとした新設基金に対する積立金の増加などで、一般会計歳出総額では対前年度比 18 億 3,099 万円、3.2%増の 591 億 3,396 万円となりました。

平成 22 年度は、「平和な未来を市民とともに育む予算」と位置づけ、第四期長期計画・調整計画の 3 年目として、長期の懸案であった、ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスの竣工をはじめとした事業に取り組んでまいりました。

以下、主要な施策の成果について申し上げます。

I 健康・福祉

(1) 健康で暮らしつづけるための施策

独居高齢者の数と実態を把握し、高齢者施策の資料とする独居高齢者実態調査を行いました。見守り、声かけなど生活上の安心確保のため、民生委員が訪問して調査を行いました。

第 5 期介護保険事業計画の検討資料とするため、高齢者実態調査を行い、279 万円を支出しました。

武蔵野赤十字病院と連携を図り、現行の小児救急医療体制の整備に加え、産婦人科救急医療体制の維持、確保に努めました。この経費として 1,300 万円を支出しました。武蔵野市民の利用者数は、小児救急受診者 2,812 人、産婦人科救急受診者 247 人でした。

乳幼児健診については、心理相談員、幼稚園教諭を各 2 人増員し、1 歳 6 ヶ月児健診と 3 歳児健診のフォロークラスを実施し、244 万円を支出しました。

平成 23 年 1 月から任意接種の子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用助成を実施し、2,295 万円を支出しました。

老・成人保健事業については、市民の生活習慣病予防及び健康保持を目的に、特定健康診査や特定保健指導をはじめ、各種がん検診、眼科健診、若年層健診等を実施し、7 億 2,722 万円を支出しました。

乳がん検診、子宮がん検診については、国のガイドラインに合わせて 2 年に 1 度の受診とするほか、対象者が受診しやすいよう工夫を図りました。

新型インフルエンザの流行を最小限に抑え、感染拡大を防ぐために、感染防護衣、マスク等の購入・備蓄を行いました。また、流行に対応するため「新型インフルエンザ休日診療所・薬局」を昨年引き続き開設し、合わせて 413 万円を支出しました。

(2) 就労・自立支援と社会参加の推進

障がい者の地域における自立と共生を目指して、障害者自立支援法に基づき、児童デイサービスの充実、介護・訓練等給付費、補装具給付費、更正医療費等を支給し、この経費として16億5,824万円を支出しました。また、介護保険などの既存サービスを利用しにくい中途障がい者などを対象とした、生活リハビリサポートすばるが開設され、この経費として601万円を支出しました。

(3) 地域で支えあう福祉のまちづくり

公共交通機関の利用が困難な高齢者・障がい者の外出を支援する移送サービス「レモンキャブ」については、延べ19,299件の利用がありました。また、車両2台の買い替えを行い、運営費と合わせて2,170万円を支出しました。

市内7カ所で展開するテンミリオンハウスにおいては、ミニデイサービスや緊急ショートステイ等、地域のニーズに応じた特色ある事業を行い、9,305万円を支出しました。

(4) 安心して暮らせるまちづくり

災害時要援護者対策事業については、市内全13地区で事業に着手して、10地区では支援者との調整が終了し、個人台帳を作成しました。

被保護世帯に対して生活保護法に基づき年間延べ63,008人、19,213世帯に対して各種給付を行い、37億5,174万円を支出しました。

地域リハビリテーション推進事業については、住み慣れた地域で安心した生活を送るための支援体制作りを目的として、支援者へ医療連携研修や虐待対応研修等を実施しました。

緊急ショートステイ事業については、介護保険施設のベッドを確保し、虐待や家族の病気などにより緊急・一時的に介護が受けられない方に対しショートステイを実施し、900万円を支出しました。

家族介護支援事業については、家族介護者の負担軽減及び在宅介護の支援のため、おむつ等の家族介護用品の支給事業の制度周知を図り、利用が伸びました。この経費として1,528万円を支出しました。

就学前の子どもと保護者を支援するため、配慮が必要な子どもの通園施設である「こども発達支援室ウィズ」、子どもの発達に関する全般的な相談事業を行う「地域療育相談室ハビット」、おもちゃを使っのびのびと親子で遊ぶ場「おもちゃのぐるりん」からなる「みどりのこども館」の運営経費として、8,332万円を支出しました。

障害者福祉センターを改修し、未就学児の児童デイサービス「千川おひさま幼児教室」を新設し、障がい児学童クラブ「千川さくらっこクラブ」と一体的に運営を行いました。また、就学児対象の児童デイサービス「あすはKids」新設にあたり、施設家賃の一部助成を行いました。これらの経費として3,491万円を支出しました。

引きこもり当事者とその家族を支援するため、家族セミナーの実施による啓発事業を実施し、電話や訪問による相談の充実、自立支援プログラムの作成などを行いました。

(5) サービスの質の向上と利用者の保護

ケアマネジャー研修センター運営事業については、研修会やケアプランの個別指導を通じて、ケアマネジャーが職業倫理や専門知識を習得することを促し、要介護者に対する適切なマネジメントの提供を目指しました。この経費として178万円を支出しました。

(6) サービス基盤の整備

医療ニーズが高い高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、介護老人保健施設「あんず苑アネックス」に対し、整備費等の補助として4,045万円を支出しました。

認知症高齢者が住み慣れた地域で住み続けられるように、認知症高齢者グループホームの整備に対し、都の補助制度を活用して7,080万円を助成しました。

介護現場の福祉人材不足を解消するため、(財)武蔵野市福祉公社では、ホームヘルパー2級養成講習会を受講し、条件に該当する講習生に授業料の還付をする、ヘルパー養成研修受講支援事業を行っています。この事業の補助として122万円を支出しました。

介護保険を利用する低所得者に対し、経済的な負担を軽くするため、訪問介護サービス利用料や通所サービス利用者の食費の助成を行い、3,539万円を支出しました。

II 子ども・教育

(1) 子育て支援施策の総合的推進

幼児教育振興のため、私立幼稚園及び私立幼稚園等園児保護者への助成を行い、2億9,567万円を支出しました。

子育てSOS支援センター事業については、相談事業、子育てショートステイ事業、産前・産後支援ヘルパー事業を実施し、子育て支援ネットワークの各機関との連携をとりながら、児童虐待等子育てに不安を持つ家庭を支援し、2,056万円を支出しました。また、新たに地域子育て支援担当を配置し、体制の強化を図りました。

乳幼児及び義務教育就学児医療費助成事業については、乳幼児117,566件及び義務教育就学児102,730件の医療保険診療自己負担分を助成し、4億3,381万円を支出しました。

子ども手当については、1人あたり月額13,000円を支給し、この経費として18億5,718万円を支出しました。

認証保育所、家庭福祉員等に対する運営費補助及び入所児童保護者助成を行い、4億4,482万円を支出しました。

病後児保育事業については、病児・病後児保育室プチあんず及び病後児保育室ラポールの施設整備に対し、1,463万円を支出しました。

(2) 親子のふれあいと家庭への啓発

子どもの食を家族で考え、乳幼児期からの正しい食習慣を定着させるため、「家族で手作り・楽しい食卓キャンペーン事業」として、「野菜たんけん隊」、「親子でクッキング！」などを引き続き実施しました。

子育て支援事業については、孤立しがちな子育て家庭を支援し、親子の交流の機会を提供する「コミセン親子広場」や、父親の育児参加を促し、親子のふれあいを深めることで、子育ての楽しさを体感できる「フォトコンテスト」等を引き続き実施しました。

(3) 子育て支援施設の整備

新たな子育て支援施設である認定こども園事業の開設に向けて、武蔵野市子ども協会の職員体制整備補助を行いました。この経費として3,342万円を支出しました。

(4) 学校教育の充実

災害発生時の食糧等の確保のため、小中学校の児童・生徒等の防災用品を備蓄し、139万円を支出しました。

児童数増加及び中学校給食実施に対応するため、桜野小学校校舎の増築を行うとともに、その増築棟に単独調理施設を設置しました。

これまで小学校の図書室の冷房化を進めてきましたが、井之頭小学校図書室に冷房を設置し、全小学校図書室への冷房設置が完了しました。この経費として935万円を支出しました。

個別指導、グループ指導により、個に応じた多様な教育の充実を図るとともに、学習につまずきのある児童・生徒へのきめ細かな支援を図るため、2,565万円を支出しました。

小学校5、6年生を対象に、全小学校にALT(外国語活動指導助手)を配置し、授業時間を拡大して実施したほか、理科の授業充実を図るため、専科教員を配置し、授業を実施しました。これらに合わせて1,573万円を支出しました。

セキュリティに配慮したネットワークコンピュータを校務用・教材作成用として市立小中学校全教員に配備しました。また、市立小中学校の教育用システム(パソコン教室)の設計を行い、老朽化している千川小学校についてパソコン教室の更改を実施しました。

セカンドスクール及びプレセカンドスクールを学校単位で実施し、1億1,838万円を支出しました。

特別支援教育推進については、ティーチングアシスタントなど学校支援人材を配置するとともに、特別支援教室を新たに2校(第二小、境南小)増設し、全5校で開催しました。この経費として2,797万円を支出しました。

(5) 青少年施策の充実

ラボック市ジュニア大使招へい事業については、アメリカ合衆国テキサス州ラボック市からジュニア大使16人を招へいし、交流会、市内・都内見学、ホームステイなどを行い、233万円を支出しました。

中国との相互交流事業については、青年の翼親善使節団として高校生 6 人を派遣し、学校訪問や施設見学、ホームステイなどを通じ、現地の青少年との交流を行い、139 万円を支出しました。

韓国との相互交流事業については、ソウル特別市江東区へ中学・高校生 12 人を派遣し、韓国文化体験、ホームステイなどを通じ現地の青少年との交流を行いました。また、忠州市から初めて中学・高校生 10 人が来訪しました。これらの経費として 165 万円を支出しました。

武蔵野市青少年問題協議会地区委員会との共催事業として、むさしのジャンボリー事業を実施し、小学 4～6 年生 932 人が参加し、1,225 万円を支出しました。

境冒険遊び場公園（プレーパーク）には、延べ 12,000 人を超える利用者があり、この事業の経費として 956 万円を支出しました。

ハバロフスク市へ青少年交流団として中学・高校生 20 名を派遣し、自然体験やホームステイなどを行い、190 万円を支出しました。

地域子ども館事業については、小学生が安全かつ健全に放課後等を過ごし、仲間づくりや異年齢交流を図ることができるように、学校施設を利用した地域の居場所・遊び場の提供を行いました。平成 22 年度は、延べ 409,053 人の参加があり、この経費として 1 億 2,395 万円を支出しました。

学童クラブ事業については、井之頭及び境南こどもクラブの校内移転を実施した他、障がい児受入れの促進を図りました。この経費として 2 億 4,564 万円を支出しました。

（6）生涯学習施策の拡充

広く小中学生に科学の不思議さ、面白さを体験させ、学ぶ意欲の向上を図ることを目的とする「むさしのサイエンスフェスタ」については、774 人が参加し、この経費として 107 万円を支出しました。

武蔵野市と武蔵野地域五大学が協力・連携して、武蔵野地域の住民を対象に継続的で体系的な学習機会を提供する武蔵野地域自由大学事業を実施しており、1,761 人の市民が登録しています。この事業運営費として 2,164 万円を支出しました。

土曜学校事業については、小・中学生を対象に、学校の授業ではなかなか学べない体験を中心とした 21 種類の講座を実施し、1,227 万円を支出しました。

図書館事業については、自動貸出機・自動返却機・予約棚・返却棚等の IC タグを活用したシステムを導入し、図書館全体の業務効率化を図るとともに、武蔵野プレイスにおける新サービスへの対応を行いました。中央図書館では、新システムに対応したフロアの改修を行いました。これらの経費として 1 億 2,266 万円を支出しました。また、平成 19 年度から実施している図書館資料への IC タグ貼付を引き続き行い、平成 22 年度に更改された図書館電算システムへ完全対応を行いました。

武蔵野プレイス建設事業については、本体工事が平成 23 年 1 月竣工し、また、開館のために必要な各種付帯工事も完了しました。なお、平成 21 年度に引き続き約 25,000 冊の図書や館内備品を購入するなど開館準備を進めました。これらの経費として 28 億 2,310 万円を支出しました。

Ⅲ 緑・環境・市民生活

(1) 持続可能な都市の形成

市域CO₂排出削減推進事業として、むさしの環境フェスタを開催したほか、市内中小企業に省エネ診断・改善アドバイス等を行い、223万円を支出しました。また、市域のCO₂排出量を削減するため、住宅用の太陽光利用設備や高効率給湯機器の設置費用の一部を助成し、これらの経費として2,759万円を支出しました。また、第六中学校校舎屋上に出力30キロワットの太陽光発電システムを設置し、2,287万円を支出しました。

地球温暖化防止と生物多様性保全に向けた中長期の目標を掲げた、平成23年度から平成27年度を期間とする「第三期武蔵野市環境基本計画」を策定し、584万円を支出しました。

市内約4,000の小規模事業者に対して、事業系ごみを家庭ごみとして排出している事業者の指導強化を実施し、適正排出率の向上を図り、平成19年度の排出指導実施前の44.0パーセントから83.9パーセントへ向上しました。この経費として777万円を支出しました。

レジ袋の削減を推進するため、レジ袋使用事業者懇談会を開催し、市内スーパーマーケット12社と協定を結びました。また、商店街の協力でエコスタンプラリーなどを実施し、レジ袋削減の取り組みを行い、環境に対する意識変化を促しました。

新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業については、「施設基本計画策定委員会」においてごみ処理施設の技術的な検討を行い、施設基本計画提言がまとまりました。また、「施設・周辺整備協議会」において環境負荷の軽減や周辺地域と調和した施設づくりについて検討を行い、協議会提言がまとまりました。これらの経費として5,261万円を支出しました。

(2) 緑豊かな都市環境の創出

公園の整備拡充を図るため、境南中央公園を新設したほか、若竹公園等の改修、はなもみじ公園、御殿山二丁目ポケット広場の用地買収等を行い、この経費として9億7,655万円を支出しました。

市立公園等を拠点とするボランティア団体による緑の保全、緑化推進及び公園等の維持に関する活動に対し、317万円の助成をしました。

(3) 身近な自然の回復と保全

仙川水辺環境整備事業については、石積み自然護岸の改修工事を行ったほか、既存整備区間の維持管理、河川工事に伴う各企業者への施設移設補償費の負担を行い3,714万円を支出しました。また、仙川水辺環境整備に伴う橋りょうの新設を行い、4,428万円を支出しました。

(4) 農業の振興

認定農業者の経営改善に要する事業費の一部を補助し、7件、261万円を助成しました。これにより補助制度を利用した農家の機械化等が改善され、作業効率の向上が図られました。

農地の保全を図るため、市と農地の保存協定を結んだ農家に対して、農業近代化のための施設整備や農機具購入費用の一部を補助し、180万円を支出しました。

(5) 商工業の振興

NEXT-吉祥寺活性化事業補助については、吉祥寺駅周辺の大型店舗改修を契機に、更なる地域活性化に資する各種イベント等を開催し、積極的な集客事業を展開しました。この経費として1,000万円を支出しました。

東京都の新・元気を出せ商店街事業費補助金では対象とならない、商店会が保有している装飾街路灯等の維持管理に係る経費の一部について、3商店会に対し補助を行いました。

市内経済の活性化のため、第3弾『元気だせ武蔵野商品券』（プレミアム付商品券）2億2,000万円を発行し、この経費として2,914万円を支出しました。

武蔵野市地域経済活性化ビジョンに基づく緊急経済対策の一環として、商店会等への顧客吸引力を高めるとともに消費意欲を刺激するため、市民協働方式での商店街情報発信を行い、600万円を支出しました。

(6) 都市観光の推進

都市観光を推進するために、武蔵野市観光推進機構を設立し、観光情報の発信のためのホームページの開設や会員向けメールマガジンの配信、観光マップの作成などを行い、2,658万円を支出しました。

(7) 真に豊かな消費生活の推進

市民の消費生活の安定と向上を図るため、消費生活センターにおいて、消費生活相談、消費者教育講座、夏休み親子教室、消費生活展、消費者団体への助成、その他消費者被害の未然防止啓発事業を実施し、1,821万円を支出しました。

(8) 防犯性の高い快適なまちづくり

ホワイトイーグル及び市民安全パトロール隊による安全パトロールを実施しました。ホワイトイーグルは車両3台・6人体制で、市民安全パトロール隊は4期7年目を迎え、68人体制で運用しました。また、ブルーキャップによるつきまとい勧誘等の指導は11人体制で運用し、関係団体、市民と共に環境浄化推進特別パトロールを実施しました。その他、市民安全大会、生活安全会議及び生活安全対策推進協議会を開催し、これらの経費として1億183万円を支出しました。

(9) 防災態勢の強化

震災時の水利不足地域を解消し、地域の防災基盤を強化するため、境南中央公園に100立方メートル級耐震性貯水槽の新設工事を行い、1,554万円を支出しました。

災害拠点病院機能向上費補助金については、武蔵野赤十字病院に対して更なる機能向上を

図るため、施設・設備拡充費用の一部を補助しました。この経費として1億5,000万円を支出しました。

避難所の機能充実を図るため、市立第一小学校にマンホール式の災害用トイレを設置するとともに、都立武蔵野中央公園に災害用トイレ設備を整備し、1,633万円を支出しました。

(10) 市民活動の活性化と協働の推進

市民による自発的なコミュニティづくりが活発に行われるよう、コミュニティセンターの管理運営を、指定管理者である16のコミュニティ協議会に委託しました。また、コミュニティづくりのための安全で快適な空間を確保するため、館の維持管理と基盤整備を行い、合わせて2億5,683万円を支出しました。

第6期武蔵野市コミュニティ市民委員会による提言を受け、八幡町コミュニティセンターの建替えに向けた事前調査、基本設計を行い、実施設計に着手しました。

(11) 男女共同参画社会の実現

むさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営を行う運営協議会を支援するとともに、前年度に引き続き専門的人材としてセンター長を配置しました。また、機能整備や人材育成を目的に各種事業を実施し、一層の活性化を図りました。これらの経費として1,026万円を支出しました。

男女共同参画情報誌「まなこ」を引き続き発行し、市民への情報提供と啓発を行うとともに、講演会や講座、男女共同参画推進団体の活動支援などの事業を実施しました。これらの経費として363万円を支出しました。

(12) 都市・国際交流の推進

国際交流協会が実施する在住外国人の生活・コミュニケーション支援を通じて、多文化共生の地域づくりを目指している国際交流活動を支援するため、運営補助金として7,017万円を支出しました。なお、同協会は平成22年4月に公益財団法人となりました。

国内友好都市間の交流ツアーや友好都市宿泊施設の利用助成を通じて、市民レベルでの交流促進を図りました。

(13) 生涯スポーツの振興

スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）の開催正式決定に伴い、8月に武蔵野市実行委員会、2月に庁内推進会議、3月に専門委員会を設立しました。同大会は、平成25年度の開催で、本市はバスケットボール競技、ラグビーフットボール競技、ウォーキング、グランドソフトボール競技の会場地となります。

スポーツ祭東京2013の広報及び実行委員会総会の開催などの経費として98万円を支出しました。

(14) 特色ある市民文化の発展

「平和の日」制定など平和施策について検討を行う「平和施策懇談会」を9回開催し、平成23年1月に提言を受けました。また「市民平和フォーラム」を11月20日に開催し市民約300名が参加しました。さらに非核都市宣言平和事業実行委員会とともに、武蔵野の空襲や広島・長崎の被爆など写真パネル展や講演会を行い、平和の尊さを市民へ発信しました。これらの経費として258万円を支出しました。

市民及び地域社会の文化の向上と福祉の増進のための「かたらいの道 市民スペース」の管理運営を行い、876万円を支出しました。

IV 都市基盤

(1) 地域の特色を活かすまちづくりの推進

社会情勢の変化等に対応するため、平成21年度に引続き都市マスタープラン改定委員会を開催し、平成22年10月に市長へ答申書が提出されました。この答申を基本にまちづくり条例に基づき手続きを進め、平成23年4月に「武蔵野市都市計画マスタープラン」として改定しました。これらの経費として763万円を支出しました。

景観道路事業については、早期事業化路線の着手に先立ち、2路線（市道第2号線、308号線）について、道路整備プランを策定し、住民説明会を行いました。また、同2路線について電線類地中化の詳細設計を行いました。これらの経費として1,055万円を支出しました。

(2) 利用者の視点と発想を重視するまちづくり

平成15年に策定した武蔵野市交通バリアフリー基本構想が目標年次である平成22年を迎えたこと及びバリアフリー新法が施行されたことを踏まえ、平成23年度以降のバリアフリー事業の基本方針等を定めるため、基本構想を改定しました。

環境舗装事業として、市内の生活道路改修の際に透水性舗装を15路線に施工し、雨水流出抑制や地下水涵養を行い、1億8,852万円を支出しました。

(3) 上水道の整備・充実

平時はもとより災害時にも安全でおいしい水の安定供給を確保するために、新設及び耐震性に劣る配水管（铸铁管、ビニール管）を耐震性ダクタイル铸铁管に取替え、配水管網の整備を図りました。これらの経費として3億6,863万円を支出しました。また、円滑な水の運用を図るため、経年劣化した設備の更新工事を行い、1億7,609万円を支出しました。

(4) 下水道の再整備

雨水浸透施設助成事業については、雨水浸透施設を設置する者に対して延べ13件の助成金を交付し、雨水浸透施設の設定促進を通じ治水、利水、水循環の推進を図りました。この経費として166万円を支出しました。

合流式下水道改善事業については、神田川及び善福寺川流域の水環境等の向上並びに浸水被害の低減を図るため、本市から排出される汚濁雨水を一時貯留する貯留施設を設置するための用地取得及び実施設計等を実施し 12 億 5,217 万円を支出しました。

大雨による浸水被害を軽減するため、第五小学校に貯留浸透施設を設置し、4,835 万円を支出しました。

(5) 道路ネットワークの整備

都市計画道路 7・6・1 号線(御殿山通り) 事業については、引き続き三鷹橋～むらさき橋間の拡幅整備及び用地買収を進め、この経費として 2 億 3,152 万円を支出しました。また、事業進捗中の区画道路 14 路線等のうち 3 件の用地買収を行い、この経費として 1 億 4,210 万円を支出しました。

(6) 安全で円滑な交通環境の整備

吉祥寺駅周辺の放置自転車対策として、吉祥寺大通り北自転車駐車場の用地取得及び整備を実施し、8 億 2,102 万円を支出しました。また、株式会社アトレが実施したアトレ吉祥寺御殿山駐輪場の増設工事(約 640 台増設)に対し、整備費の一部として 3,000 万円を助成しました。

ムーブスについては、7 路線 9 ルートで運行し、年間乗客数は延べ 258 万人でした。ムーブパーク事業と合わせて 7,331 万円を支出しました。

(7) 住宅施策の総合的展開

東京都市長会が実施する家具転倒防止器具助成事業を活用し、家具転倒防止器具の購入・取付けを希望する 3,221 世帯に対し、一定金額まで無料で配布・設置を行い、震災時の安全性の向上を図りました。この経費として 5,206 万円を支出しました。

住宅施策を総合的かつ体系的に展開するための方向性を示し、さまざまな主体との連携と協働による住宅・住環境づくりを進めていくための基本的指針となる第三次住宅マスタープランを策定しました。この経費として 661 万円を支出しました。

(8) 住宅とまちの防災対策の推進

耐震化の促進を図るため、昭和 56 年以前に建築された木造住宅に耐震アドバイザーを無料で派遣し、簡易診断を行いました。

民間住宅耐震診断助成事業については、建築物の所有者が精密な耐震診断を受けた場合、その費用の一部を助成しました。平成 22 年度は、木造 24 件、非木造 2 件の申請があり、254 万円の支出をしました。また、民間住宅耐震改修助成事業については、昭和 56 年以前に建築された住宅で、市が定める診断機関による耐震診断の結果に基づき耐震改修を行う場合に、その費用の一部を助成しました。木造 19 件の申請があり、945 万円を支出しました。

(9) 吉祥寺圏の都市基盤整備

吉祥寺のまちづくりの一環として立ち上げた吉祥寺方式物流対策委員会の自立と継続的な活動に向けて運営支援を行い、また、荷捌きルール徹底週間を実施し、路上駐停車車両調査及びPR活動等を行いました。これらの経費として590万円を支出しました。

(10) 武蔵境圏の都市基盤整備

鉄道連続立体交差事業については、既に上下線高架化が完了し、引き続き駅舎工事を施工中です。事業主体である東京都に対する負担金等で2億7,780万円を支出しました。

武蔵境駅周辺整備に係る道路整備事業や高架下事業等については、広く市民に情報提供するための「まちづくり説明会」を開催しました。

都市計画道路3・3・23号線事業については、武蔵境駅北口広場の形状やバス停配置などを検討するため関係機関と協議し、これらの経費として397万円を支出しました。

武蔵境駅舎周辺環境整備計画については、駅舎連続施設(北側)整備に伴う、構造等の再検討及び道路上建築物の設置許可に関わる関係機関との調整を行いました。また、武蔵境駅舎・広場・街づくり協議会への側面支援を実施し、これらの経費として648万円を支出しました。

V 行・財政

(1) 市民パートナーシップの積極的推進

分権と協働の時代における自治体運営の検討として、連続講座及び第五期基本構想・長期計画策定と連動してシンポジウムを実施し、110万円を支出しました。

市民と市長のタウンミーティングについては、市民が主役の市政を進めるため、地域の課題や市政全般について意見交換を行うタウンミーティングを、コミュニティ協議会と共催で年3回開催しました。また、特定の課題について意見交換を行うテーマ別タウンミーティングを2回、青空タウンミーティングを2回開催し、92万円を支出しました。

行政との協働や、NPO・市民活動団体同士の交流等を促進する拠点として、市民協働サロンの管理運営をNPO・市民活動団体に委託し、1,196万円を支出しました。

(2) 市民ニーズに応えるサービスの提供

東京都と市区町村の共同運営による電子申請サービス及び電子調達サービスを利用し、電子申請については、誕生記念樹、胃がん・子宮がん検診など20の手続きを電子申請化するとともに、携帯電話による申請にも対応し、754件の申込がありました。電子調達については、工事49件、委託139件、物品96件、計284件の電子入札を行いました。

(3) 積極的な情報発信と情報セキュリティの徹底

市のホームページに関しては、市政情報の提供や緊急情報の表示方法の変更などの災害時対応を行いました。また、23年度の再構築に向けて調達仕様書作成と構築設計業務を委託し、

930 万円を支出しました。

(4) 健全な財政運営の維持

ファシリティマネジメントの手法を活用して総合的・計画的に施設整備を実施するため、施設に関する基礎情報の収集及びデータ化を行いました。

公共施設保全整備については、劣化調査の結果に基づき市民文化会館や市庁舎などの公共施設の保全整備を実施し、施設の機能維持及び延命化を図りました。この経費として3億1,963万円を支出しました。

(5) 時代の変化に対応する柔軟な行政運営

第五期基本構想・長期計画の策定にあたり、策定委員会を設置し議論を重ねるとともに、市民ワークショップ等を開催しました。本年2月には討議要綱を公表し、多様な意見交換を行いました。

市の業務を見直し、ワークシェアリングと求職者の生活支援を目的に、市民の雇用を創出するという観点から嘱託職員の任用を行いました。中高年齢者及び障がい者を対象として、36課74職種240人の嘱託職員を任用しました。また、本市独自の緊急雇用対策として、14課15職種22人の嘱託職員を任用しました。

総合事務支援システムについては、文書管理システムや人事給与システムなどが新規稼働し、再構築が完了しました。これらの経費として6,664万円を支出しました。

平成 22 年度主要な施策の概要と成果一覧

I 健康・福祉

1 健康で暮らしつづけるための施策

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

| No. | 事業名 | 金額(千円) | 施策の概要と成果 |
|-----|---------------------------------|------------------------|---|
| 1 | 独居高齢者実態調査 [高齢者支援課] | 予算 2,500 決算 1,939 | 独居高齢者の数と実態を把握し、高齢者施策の資料とする独居高齢者実態調査を行った。見守り、声かけなど生活上の安心確保のため、民生委員が訪問して調査した。 第一次調査対象者 8,512 人 第二次調査対象者 2,326 人 |
| 2 | 高齢者実態調査 [高齢者支援課] | 予算 3,600 決算 2,793 | 第5期介護保険事業計画策定に向け、計画策定のための検討資料とするため、実態調査を行った。今後、武蔵野市健康福祉総合計画策定委員会においてこの実態調査を活用し、議論を進めていく。 |
| 3 | 小児・産婦人科救急医療運営費助成事業 [健康課] | 予算 13,000 決算 13,000 | 武蔵野赤十字病院との連携を図り、現行の小児救急医療体制の整備に加え、産婦人科救急医療体制の維持、確保に努め、円滑な救急医療活動を支援した。 小児救急総受診者数 9,870 人 (うち武蔵野市民 2,812 人、28.5%) 産婦人科救急受入数 1,293 人 (うち武蔵野市民 247 人、19.1%) |
| 4 | 乳幼児健診の充実 [健康課] | 予算 2,810 決算 2,441 | 心理相談員、幼稚園教諭を各2人増員し1歳6ヶ月児健診と3歳児健診のフォロークラスを実施した。 また、1歳6ヶ月健診、3歳児健診、発達相談でも心理相談員を各1人増員し、健診体制の充実を図った。 1歳6ヶ月児健診 24回×心理相談員3人 フォロークラス 24回×心理相談員2人、幼稚園教諭2人 3歳児健診 24回×心理相談員3人 フォロークラス 18回×心理相談員2人、幼稚園教諭2人 発達相談 11回×心理相談員3人 【参考】1歳6ヶ月児 受診者 897 人 (うちフォロークラス参加者 132 人) 3歳児 受診者 935 人 (うちフォロークラス参加者 34 人) |
| 5 | 子宮頸がん等ワクチン接種事業 [健康課] | 予算 0 決算 22,949 | 平成23年1月15日より任意接種の子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用助成を実施した。子宮頸がん予防は市内在住の中1～高1の女子を対象に接種回数3回、1回あたり14,439円(自己負担1,500円)、ヒブ、小児用肺炎球菌は市内在住の生後2ヶ月～5歳未満を対象に1～4回接種、ヒブを1回あたり8,052円(自己負担800円)、小児用肺炎球菌を1回あたり10,267円(自己負担1,000円)を助成した。 延接種者数 子宮頸がん 418 人 ヒブ 766 人 小児用肺炎球菌 1,046 人 |

| | | | | |
|---|--------------------------------------|----------|--------------------|--|
| 6 | 老・成人保健事業(乳がん・子宮がん検診を除く) [健康課] | 予算 決算 | 802,436 727,220 | 特定健康診査や特定保健指導をはじめ、市民の生活習慣病予防及び健康保持を目的に、各種がん検診、眼科健診、若年層健診等を実施した。 若年層健康診査(30～39歳)受診者数 370人 健康診査(40歳以上)受診者数 21,779人 眼科健診 受診者数 18,932人 特定保健指導 利用者数 377人 肝炎ウィルス検診 受診者数 1,740人 |
| 7 | 乳がん検診 子宮がん検診 [健康課] | 予算 決算 | 95,632 110,451 | 乳がん検診、子宮がん検診ともに、国のガイドラインに合わせて2年に1度の受診とした。乳がん検診については、偶数・奇数年齢の受診区分及び奇数年齢の視触診単独検診を廃止し、年間を通し受診できることとした。子宮がん検診については、対象者全員に受診券を送付した。 (女性特有のがん検診含む) 子宮がん検診受診者 6,967人 乳がん健診受診者数 2,776人 |
| 8 | 新型インフルエンザ対策 [健康課] | 予算 決算 | 8,644 4,128 | 新型インフルエンザの発生に伴い、その流行を最小限に抑え、感染拡大を防ぐために感染防護衣等の資器材の購入・備蓄を行った。 防護服一式 172組、サージカルマスク 1,000箱、タミフル 2,000組 また、新型インフルエンザの流行に対して「新型インフルエンザ休日診療所・薬局」を開設した。 延医療機関数 18箇所、延薬局数 15箇所 診療患者数 424人 |

2 就労・自立支援と社会参加の推進

| | | | | |
|----|--|----------|------------------------|---|
| 9 | 障害者就労支援センターあいの充実 [障害者福祉課] | 予算 決算 | 34,926 34,926 | 一般就労を目指す障がい者の増加に対応するため、地域開拓促進コーディネーターを1人増員して企業に対する障がい者雇用へのアプローチ等を強化するとともに、登録者への支援体制を充実させた。登録者216人、就職者31人、庁内実習4人。セミナー「障がい者の就労を考える集い」(ハローワーク、三鷹市との共催)参加者153人。 |
| 10 | 障害者自立支援給付事業(児童デイサービスの充実、中途障がい者デイサービスを除く) [障害者福祉課] | 予算 決算 | 1,620,805 1,658,243 | 障がい者の地域での自立と共生を目指して、障害者自立支援法に基づく給付費の支給等を行なった。 介護・訓練等給付費(1,503,898千円)、補装具給付費(20,783千円)、更生医療費(72,451千円)等。 |
| 11 | 中途障がい者デイサービスの充実 [障害者福祉課] | 予算 決算 | 15,212 6,014 | 平成22年4月、障害者福祉センター内に生活リハビリサポートすばるが開設された。介護保険などの既存のサービスを利用しにくい中途障がい者などを対象として、社会参加と活動の場を提供することにより、地域生活をより豊かにするための支援を行った。自立訓練(市単独を含む)の延利用人数1,287人。生活介護の延利用人数503人。 |

| | | | | |
|----|----------------------------|----------|------------------|--|
| 19 | 家族介護支援事業 [高齢者支援課] | 予算 決算 | 18,763 15,278 | 家族介護者の負担を軽減し、在宅での介護を支援するため、家族介護者の交流・情報交換の機会の提供、介護技術講座、家族介護用品（おむつ）の支給などを実施した。 家族介護用品の支給 延件数 1,393 件 はいかい高齢者探索事業 設置台数 16 件 家族介護慰労金支給事業 支給件数 1 件 介護家族支援プログラム 実施回数 138 回 介護技術講座 延参加者数 51 人 |
| 20 | みどりのこども館の管理運営 [障害者福祉課] | 予算 決算 | 83,319 83,315 | 就学前の子どもと保護者への支援を目的とした施設の運営を（福）武蔵野に指定管理委託している。「こども発達支援室ウィズ」利用者 15 名、「地域療育相談室ハビット」療育相談新規 147 件、受理面接 92 件、継続 446 件。親子通園登録 42 人延参加者 1,956 人ほか、「おもちゃのぐるりん」247 日開設、利用者延 4,827 人、おもちゃの貸し出しなど。 |
| 21 | 児童デイサービスの充実 [障害者福祉課] | 予算 決算 | 45,026 34,912 | 障害者福祉センターを改修し、10 月より未就学児の児童デイサービス「千川おひさま幼児教室」（定員 10 人/日）を新設し、障がい児学童クラブ「千川さくらっこクラブ」（4 月開所）と一体的に運営を行った。また、就学児対象の児童デイサービス「あすは Kids」（定員 10 人/日）新設にあたり、施設家賃の一部助成を行った。 利用者：千川おひさま幼児教室（10～3 月）延 36 人。あすは Kids 延 416 人。 |
| 22 | 引きこもりサポート事業の充実 [障害者福祉課] | 予算 決算 | 4,807 4,807 | 引きこもり当事者とその家族を支援するため、家族セミナーの実施による啓発事業の実施、電話や訪問による相談の充実、自立支援プログラムの作成などを行なった。 啓発事業参加者 342 人（家族セミナー 8 回、フォーラム 1 回）、相談件数：来所 853 件、電話 43 件、訪問 20 件。 |

5 サービスの質の向上と利用者の保護

| | | | | |
|----|-------------------------------|----------|----------------|--|
| 23 | ケアマネジャー研修センター運営事業 [高齢者支援課] | 予算 決算 | 2,406 1,776 | 支援者が適切なマネジメント提供を行うため、職業倫理や専門知識を習得できるよう研修会やケアプランの個別指導を行った。 ①新任研修 1 回 修了者 37 人 ②現任研修 1 部 修了者 19 人 ③現任研修 2 部 修了者 35 人 ④専門研修 1 回 修了者 119 人 ⑤ケアプラン指導研修 6 回 26 事例 |
|----|-------------------------------|----------|----------------|--|

6 サービス基盤の整備

| | | | | |
|----|---|----------|------------------|---|
| 24 | サテライト型小規模老人保健施設「あんず苑アネックス」施設整備等補助事業 [高齢者支援課] | 予算 決算 | 40,450 40,450 | 医療ニーズが高い高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、介護老人保健施設を整備するにあたり、整備費等の補助を行った。 名称：あんず苑アネックス 設置・運営：（財）天誠会 場所：境 1-19-20 種別：介護老人保健施設（定員 21 人） 通所リハビリテーション（定員 20 人）：訪問看護ステーション 開設：平成 22 年 7 月 1 日 |
|----|---|----------|------------------|---|

| | | | | |
|----|---|----------|------------------|---|
| 25 | 認知症グループホーム施設整備補助事業 [高齢者支援課] | 予算 決算 | 70,800 70,800 | 認知症高齢者が増加するなか、認知症になっても住み慣れた地域で住み続けられるように、認知症高齢者グループホームを整備するにあたり、都の補助制度を活用して、助成を行った。 名称：マザアスホームだんらん武蔵境 設置・運営：(株) マザアス 場所：境4-8-1 定員：18人 開設：平成23年3月1日 |
| 26 | 特別養護老人ホーム「さくらえん」施設整備等補助事業 [高齢者支援課] | 予算 決算 | 14,000 0 | 特別養護老人ホーム「さくらえん」は予定どおり平成22年5月に開設したが、法人の借入金償還金の返済が平成24年度以降に変更されたため、22年度は償還金の補助を行っていない。 |
| 27 | ヘルパー養成研修受講支援事業（ケアキャリア22） [高齢者支援課] | 予算 決算 | 1,220 1,220 | 介護現場の福祉人材不足を解消するため、(財)武蔵野市福祉公社は、ホームヘルパー2級養成講習会について、また緊急雇用対策として、講習修了後、「武蔵野市介護サービス事業者リスト」に掲載されている事業所に勤務又は登録した講習生に、授業料の8割を還付した。市はこの事業に対し補助を行った。修了生は24人(うち還付請求者 8人) |
| 28 | 介護保険利用者負担額助成事業 [高齢者支援課] | 予算 決算 | 39,989 35,392 | 介護保険を利用する低所得者に対し、経済的な負担を軽くするため、訪問介護サービス利用料10%のうち5%分(介護保険利用者負担額助成事業)及び、通所サービス利用者の食費一食あたり200円(通所サービス利用者食費助成事業)の助成を行った(通所サービス利用者食費助成事業は高齢者日常生活支援事業からの移管)。 ・介護保険利用者負担額助成事業 実支給人数864人、支給件数8,033件 ・通所サービス利用者食費助成事業 実支給人数777人、延交付食数53,297食 |

II 子ども・教育

1 子育て支援施策の総合的推進

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

| No. | 事業名 | 金額(千円) | 施策の概要と成果 |
|-----|---------------------------------|------------------------------|---|
| 1 | 私立幼稚園補助金等助成事業 [子ども家庭課] | 予算 309,499 決算 295,673 | 私立幼稚園及び私立幼稚園等園児保護者への助成により、引き続き幼児教育の振興を図った。 ・幼稚園への補助 32,048,850 円 ・保護者への補助 239,341,500 円 |
| 2 | 0123の管理運営 [子ども家庭課] | 予算 124,525 決算 141,035 | 0歳児から3歳児までの乳幼児とその親の子育てを支援するための事業を行うとともに、施設を安全・適正に維持・管理するため、武蔵野市子ども協会に管理運営を委託した。 延利用者(子ども)数 吉祥寺 16,637人 はらっぱ 27,942人 |
| 3 | 子育てSOS支援センター事業 [子ども家庭課] | 予算 23,305 決算 20,561 | 相談事業、子育てショートステイ事業、産前・産後支援ヘルパー事業の実施、子育て支援ネットワークの各機関との連携により、児童虐待等子育てに不安を持つ家庭を支援した。また、新たに地域子育て支援担当を配置した。 相談事業延件数 9,917件 |
| 4 | 乳幼児及び義務教育就学児医療費助成事業 [子ども家庭課] | 予算 403,081 決算 433,806 | 乳幼児及び義務教育就学児の医療保険診療自己負担分を助成した。 医療費助成額 408,906,030 円 対象児童数 乳幼児 6,775人 義務教育就学児 8,353人 助成件数 乳幼児 117,566件 義務教育就学児 102,730件 |
| 5 | 子ども手当支給事業 [子ども家庭課] | 予算 1,969,206 決算 1,857,182 | 次代の社会を担う子どもの育ちを支援するため、中学校修了前までの子どもについて、1人あたり月額13,000円の子ども手当を支給した。 子ども手当支給額 1,840,748,000 円 受給者数 9,475人、対象児童数 14,737人 |
| 6 | ひとり親家庭医療費助成事業 [子ども家庭課] | 予算 30,101 決算 26,670 | ひとり親家庭等に対し、医療保険診療自己負担分の一部を助成した(所得制限あり)。 医療費助成額 24,523,914 円 受給世帯数 466世帯、受給対象者数 741人 助成件数 10,089件 |
| 7 | ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業 [子ども家庭課] | 予算 16,647 決算 11,848 | 修学、就労、疾病又は生活環境の変化等により、一時的に家事、育児等の日常生活の援助を必要とするひとり親家庭にホームヘルパーを派遣し、生活の安定を図った。 実世帯数 64世帯 派遣日数延 2,727日 |
| 8 | 子どもを守る家関連推進事業 [児童青少年課] | 予算 1,759 決算 1,362 | 「子どもを守る家」「自転車防犯帯」協力員の拡大及び活動の意義・目的の再認識と情報提供の実施。子どもが自ら身を守ることの意識づけを目的とした「CAPワークショップ」を実施した。子どもを守る家1,927件、自転車防犯帯2,719件(H23.3月現在) |

| | | | | |
|----|----------------------|----------|--------------------|--|
| 9 | 認可外保育施設助成事業 [保育課] | 予算 決算 | 494,655 444,817 | 認証保育所、家庭福祉員等に対する運営費補助及び入所児童保護者助成を行った。 |
| 10 | 病後児保育事業 [保育課] | 予算 決算 | 16,708 14,631 | 病児・病後児保育室プチあんず及び病後児保育室ラポールの施設整備に対し、補助を行った。 |

2 親子のふれあいと家庭への啓発

| | | | | |
|----|--------------------------------------|----------|--------------|---|
| 11 | 家族で手作り・楽しい食卓 キャンペーン事業 [子ども家庭課] | 予算 決算 | 630 465 | 子どもの食を家族で考え、乳幼児期からの正しい食習慣を定着させるための事業を引き続き実施した。 参加者：(夏) 野菜たんけん隊 23組 59人 親子でクッキング! 15組 31人 (冬) 新! 武蔵野野菜たんけん隊 10組 25人 |
| 12 | 子育て支援事業 [子ども家庭課] | 予算 決算 | 1,165 716 | 孤立しがちな子育て家庭を支援し、親子の交流の機会を提供する事業や、父親の育児参加を促し、親子のふれあいを深めることで、子育ての楽しさを体感できる事業を引き続き実施した。 ①コミセン親子ひろば 延利用人数 10,865人 ②フォトコンテスト 応募者 245人 ③フォト講座 17組 45人 ④親子ミニミニジャンボリー 参加者 14組 42人 |

3 子育て支援施設の整備

| | | | | |
|----|--------------------------|----------|------------------|--|
| 13 | 児童館運営事業 [児童青少年課] | 予算 決算 | 15,716 14,876 | 子どもたちの健全育成を目的として、乳幼児親子と小中学生を対象に、健全な遊びと安全な居場所の提供及び子育て支援を実施した。 事業回数 275回 参加者 延 12,305人 一般来館者 延 27,188人 総計 延 39,493人 |
| 14 | 境こども園(仮称)開設準備事業 [保育課] | 予算 決算 | 30,000 33,418 | 市立境幼稚園の発展的解消に伴う認定こども園事業の基本設計委託及び開設準備に伴う武蔵野市子ども協会の職員体制整備補助を行った。 |

4 学校教育の充実

| | | | | |
|----|-----------------------------|----------|----------------|---|
| 15 | 小中学校児童・生徒用防災用品購入 [教育企画課] | 予算 決算 | 1,879 1,387 | 小中学校に児童・生徒等の防災用品を5カ年で備蓄し、災害発生時の食糧等を確保する。 クラッカー、備蓄用パン、水、毛布、アルミックシート。平成22年度は、2カ年目の備蓄を実施した。 |
|----|-----------------------------|----------|----------------|---|

| | | | | |
|----|------------------------------|----------|--------------------|---|
| 16 | 小学校グラウンド整備 [教育企画課] | 予算 決算 | 27,870 25,312 | 学校施設の雨水貯留浸透施設設置に併せ、劣化しているグラウンドを改修する。平成22年度は第五小学校に実施した。 |
| 17 | 桜野小学校校舎等増築工事 [教育企画課] | 予算 決算 | 308,701 303,532 | 児童数増加に伴い普通教室が不足することが予測されたため、校舎の増築を行った。また、併せて中学校給食の実施に伴い必要となる給食提供数を確保するため、増築棟に単独調理施設を設置した。 21年度に引き続き増築棟建設工事と外構工事を実施し、平成22年8月末に竣工した。 |
| 18 | 小学校図書室の冷房設置 [教育企画課] | 予算 決算 | 13,145 9,345 | 暑さ対策、快適な学習環境の整備のため、小学校図書室に冷房を設置した。 平成22年度は井之頭小学校に設置した。これにより全小学校図書室への冷房設置が完了した。 |
| 19 | 少人数指導及び学習支援教室等の推進 [指導課] | 予算 決算 | 29,397 25,647 | 学級内及び学級の枠を超えた弾力的編成による個別指導、グループ指導を行い、個に応じた指導の充実を図った。また、学習につまずきのある児童生徒へのきめ細やかな支援を図るため、希望者に対して放課後等に学習支援教室を実施した。 きめ細やかな指導により、一人一人の学びの状況に応じた指導をすることができ、つまずきの解消が見られた。 |
| 20 | 小学校外国語活動の支援 [指導課] | 予算 決算 | 7,608 6,456 | 平成20年度より、市立全小学校にALT(外国語活動指導助手)を配置し、5,6年生の外国語活動を開始している。平成22年度は、時数をモデル校3校で35時間、その他の小学校は30時間として、市が任用した6人のALTにより外国語活動を実施した。 外国語に対する興味や関心を高めるとともに、積極的にコミュニケーションをとる児童が増えた。 |
| 21 | 小学校高学年における理科専科教員の配置 [指導課] | 予算 決算 | 9,370 9,272 | 都の加配教員配置校2校を除いた全ての小学校10校の高学年において理科の専門性の高い専科教員を配置し、質の高い授業を行った。観察、実験を通して児童の理科への関心を高めることができた。 |
| 22 | 教員用コンピュータネットワーク構築 [指導課] | 予算 決算 | 126,628 106,440 | 平成22年9月末までにセキュリティに配慮した教員用校務コンピュータネットワークを市立小中学校全教員に対し配備した。また、先行導入校3校において、通知表の打ち出しをシステムを活用して行った。指導要録への連動等により、校務の効率化を図ることができた。 |
| 23 | 教育用コンピュータ(パソコン教室)更改 [指導課] | 予算 決算 | 13,291 6,867 | 平成23年度末までに、市立小中学校全パソコン教室の更改を実施する。平成22年度は、教育用システム(パソコン教室)の設計を行い、老朽化が著しい千川小学校についてパソコン教室の更改を実施した。更改したパソコンを活用し、調べ学習や問題演習を行う環境を整備することができた。 |
| 24 | セカンドスクール [指導課] | 予算 決算 | 131,731 118,380 | 市立小学校5年生・中学校1年生を対象に、農山漁村等における長期滞在型の体験学習を展開するセカンドスクールを学校単位で実施した。また、小学校4年生を対象に短期宿泊体験学習であるプレセカンドスクールを実施した。平成22年度は、麻しんの影響により1校が延期となったが、日程調整を行い、実施することができた。 年度末に実践報告会を行い、各校に工夫や特色のある取組みを周知したことで、セカンドスクールの狙いを学校が再確認することができた。 |

| | | | | |
|----|---|----------|--------------------|--|
| 25 | 教育相談事業（不登校対策の推進） [教育支援課] | 予算 決算 | 74,753 72,344 | 教育支援センターの教育相談員の勤務体制を、従来の1日4人から概ね5人体制とし、相談支援を充実強化した。相談員は、来所相談のほか学校派遣相談を行い、また、不登校児童生徒の学校への復帰の支援を行うため、教育支援センターにスクールソーシャルワーカー1人を配置した。 来所相談数 3,566件 学校派遣支援数 6,305件 |
| 26 | 特別支援教育推進事業 [教育支援課] | 予算 決算 | 31,828 27,968 | 専門家スタッフ（大学教授等）を小学校12校各8回・中学校6校各6回派遣、サポートスタッフ（心理学を専攻する大学院生等）登録者38人を延744回派遣、ティーチングアシスタント（教員を希望する学生等）登録者106人を延1,773回派遣し学校教育の充実を図った。また、特別支援教室を小学校3校（大野田小、千川小、井之頭小）から2校（第二小、境南小）増設し計5校で実施した。各校の実施状況の確認や情報交換を行うため、連絡会を年2回開催した。 |
| 27 | 特別支援学級の運営 [教育支援課] | 予算 決算 | 78,580 63,109 | 介助員の配置、スクールバスの配車などを行い、特別支援学級（知的障害学級、難聴・言語障害学級、肢体不自由学級、院内病弱学級、情緒障害学級）の運営を行った。 |
| 28 | 一般財団法人武蔵野市給食・食育振興財団に対する調理業務の一部委託 [給食課] | 予算 決算 | 194,131 187,194 | 平成22年4月から市内全校の中学校給食及び、同10月より桜野小学校の給食調理業務を委託した。 給食提供回数（中学校給食 191回、桜野小学校 90回*平成22年10月25日から） |

5 青少年施策の充実

| | | | | |
|----|-----------------------------|----------|------------------|---|
| 29 | ラボック市ジュニア大使招へい事業 [交流事業課] | 予算 決算 | 3,349 2,332 | 前年度、新型インフルエンザの影響で中止となった事業を再開した。 17回目の来訪で、6/8～6/14の7日間、団員16人・引率者6人が市役所訪問、第一中学校での交流会、市内・都内見学、ホームステイなどを行った。 |
| 30 | 中国との相互交流事業 [交流事業課] | 予算 決算 | 3,555 1,388 | 前年度、新型インフルエンザの影響で中止となった事業を再開した。 「青年の翼親善使節団」として8/4～8/11の8日間、高校生6人・引率者3人を中国に派遣した。期間中、民族職業高校・月壇中学校訪問や北京市、少林寺、河南博物院などを見学し、ホームステイなどを通じ現地の青少年との交流を行った。 |
| 31 | 韓国との相互交流事業 [交流事業課] | 予算 決算 | 2,958 1,647 | 前年度、新型インフルエンザの影響で中止となった事業を再開した。 ソウル特別市江東区へ中学・高校生12人、引率者3人を7/23～7/26の4日間派遣した。期間中、区庁訪問、韓国文化体験、ホームステイなどを通じ現地の青少年との交流を行った。また、忠州市から初めて中学・高校生10人、引率者3人が8/27～8/30の4日間に来訪し、ホームステイなどを通じて交流を行った。 |
| 32 | 市立自然の村管理運営 [児童青少年課] | 予算 決算 | 41,084 39,700 | 長野県南佐久郡川上村にある市立自然の村の維持管理運営 宿泊利用人数 延5,474人 利用促進バス12回運行 利用人数 延155人 |

| | | | | |
|----|---|----------|--------------------|--|
| 33 | むさしのジャンボリー事業 [児童青少年課] | 予算 決算 | 13,405 12,245 | 武蔵野市青少年問題協議会地区委員会との共催事業として、2泊3日のキャンプを11回実施した。 場所 市立自然の村 参加者延1,449人(小学校4～6年生児童932人、指導者315人、サブリーダー200人、介助者1人) |
| 34 | 青少年問題協議会の運営と地区委員会活動の推進 [児童青少年課] | 予算 決算 | 11,757 11,242 | 青少年問題協議会定例会の開催及び地区委員会の活動に対する補助を行った。 市内12地区委員会 1,439人 |
| 35 | 青少年活動育成(境冒険遊び場公園(プレパーク)事業を除く) [児童青少年課] | 予算 決算 | 26,721 22,523 | ①中高生リーダー講習会 169人(参加申込数) ②善行表彰 6人、5団体 ③鳥取家族ふれあい自然体験 16組 49人 ④親子棚田体験 春:7家族 17人 秋:11家族 29人 ⑤自然体験指導者講習 延参加者 29人 ⑥青少年団体バス借上げ 延台数 60台 |
| 36 | 境冒険遊び場公園(プレパーク)事業 [児童青少年課] | 予算 決算 | 9,561 9,561 | 平成22年度 総来場者数 12,833人 イベントプレパーク開催数 17回 |
| 37 | ハバロフスク市青少年交流事業 [児童青少年課] | 予算 決算 | 2,783 1,896 | 武蔵野市・ハバロフスク市青少年相互交流に関する協定書に基づき、青少年交流団として、12～18歳の青少年20人、随行員4人を7泊8日の日程でハバロフスク市に派遣した。 |
| 38 | 地域子ども館事業 [児童青少年課] | 予算 決算 | 130,696 123,953 | 小学生が安全かつ健全に放課後等を過ごし、仲間づくりや異年齢交流を図ることができるように、学校施設を利用した地域の居場所・遊び場を提供した。 延参加児童数 409,053人 |
| 39 | 学童クラブ事業 [児童青少年課] | 予算 決算 | 255,040 245,638 | 市内在住で小学校低学年の、放課後監護に欠ける児童の健全育成を行った。井之頭及び境南こどもクラブの校内移転を実施した他、障がい児受入れの促進を行った。 15クラブ 定員 724人 在籍数(年間平均) 629人 |

6 生涯学習施策の拡充

| | | | | |
|----|------------------------------|----------|------------------|---|
| 40 | むさしのサイエンスフェスタ [生涯学習スポーツ課] | 予算 決算 | 1,560 1,068 | 大野田小学校を会場に市立小中学校教員や地域ボランティア、地元の大学や企業等の協力を得て科学実験ブースを設置し、広く小中学生に科学の不思議さ、面白さを体験させ、学ぶ意欲の向上を図った。参加者数 774人。 |
| 41 | 文化財保護普及事業 [生涯学習スポーツ課] | 予算 決算 | 19,069 13,403 | 文化財の保存と活用を目的とし、文化財保護委員の会議の開催、民俗資料の調査収集・展示、埋蔵文化財の発掘調査などを行うとともに、平成21年度に開催した開村120周年を記念した連続歴史講演会の講演録を刊行した。 |
| 42 | 武蔵野地域自由大学事業 [生涯学習スポーツ課] | 予算 決算 | 23,267 21,638 | 武蔵野市と武蔵野地域五大学が協力・連携して、武蔵野地域の住民を対象に継続的で体系的な学習機会を提供する。平成22年度末の登録者数は、1,761人。 |
| 43 | 土曜学校事業 [生涯学習スポーツ課] | 予算 決算 | 16,360 12,271 | 学校の授業ではなかなか学べない体験を中心とした学習の場として、小中学生を対象に、学校休業日の土曜日の体験活動を中心としたプログラムを展開している。22年度は21種類の講座を実施した(スポーツプログラム・市民会館実施分を含む)。 |

| | | | | |
|----|--|----------|------------------------|---|
| 44 | 図書館電算システム更改、中央図書館1階フロア改修工事 [図書館] | 予算 決算 | 136,637 122,659 | 自動貸出機・自動返却機・予約棚・返却棚等のICタグを活用したシステムを導入し、増加する業務量を吸収するとともに、武蔵野プレイスで行うサービスへの対応を図った。また、中央図書館では、新システムに対応したフロアの改修を実施した。 |
| 45 | 図書館資料収集・保存 [図書館] | 予算 決算 | 115,468 113,573 | 市立図書館の図書資料の充実を図った。 中央図書館：図書 20,234 冊 CD 166 枚 ビデオ △33 本 DVD227 枚 西部図書館：図書 1,477 冊 吉祥寺図書館：図書 △904 冊 CD32 枚 |
| 46 | 図書館資料へのICタグ貼付 [図書館] | 予算 決算 | 11,635 10,446 | 平成19年度から実施している図書館資料へのICタグ貼付を引き続き行い、平成22年度に更改された図書館電算システムへ完全対応させた。 ICタグ貼付実績 ①既存資料分 36,366 点 ②新規資料分 52,259 点 ③視聴覚資料 697 点 |
| 47 | 児童を対象とした図書サービス [図書館] | 予算 決算 | 10,095 8,577 | 「むさしのブックスタート」、「読書の動機づけ指導」、「子ども文芸賞」等の事業を引き続き実施するとともに、子ども読書活動推進計画策定委員会を設置し、子ども達へより豊かな読書環境や学習環境を整備していくための検討を行った。また、前年度より好評であった「子ども武蔵野市史」を増刷し、資料の普及・活用を図った。 |
| 48 | 地域アーカイブシステム構築事業 [武蔵野プレイス開設準備室] | 予算 決算 | 10,000 10,139 | 市や市民が所有する武蔵野市に関する資料や映像を、デジタル化し閲覧できる「地域アーカイブシステム」を構築した。映像資料 67 点、静止画資料 120 点をデータベース化した。 |
| 49 | ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設事業 [武蔵野プレイス開設準備室] | 予算 決算 | 3,047,781 2,823,104 | 本體工事（平成23年1月竣工）をはじめ、会館のために必要な各種付帯工事が完了した。同7月開館。施設規模は、地上4階・地下3階、延床面積 9,809.76 m ² 。また、平成21年度に引き続き、約 25,000 冊（両年度で 50,000 冊）の図書や館内備品を購入するなど開館準備を進めた。 |

Ⅲ 緑・環境・市民生活

1 持続可能な都市の形成

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

| No. | 事業名 | 金額(千円) | 施策の概要と成果 |
|-----|-------------------------------------|------------------------|--|
| 1 | 市域 CO2 排出削減推進事業 [環境政策課] | 予算 4,950 決算 2,231 | ①環境啓発イベントとして、むさしの環境フェスタを開催した。 ②市内中小事業所を対象に、業務用設備の省エネ診断・改善アドバイスを無料で実施した。 2件 499,800円 ③市内中小事業所を対象に、省エネ設備改修費用の借入金利子の補助等を行った。 1件 173,543円 |
| 2 | 二酸化炭素排出削減行動助成事業 [環境政策課] | 予算 17,150 決算 27,585 | 市域の二酸化炭素排出量を削減するため、住宅用の太陽光利用設備や高効率給湯機器の設置費用の一部を助成した。 ①太陽光利用設備 太陽光発電システム 4万円/kW 太陽熱温水器 5万円/1件 助成件数…計 117件 ②高効率給湯機器 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム 10万円/1件 ガス発電給湯器 4万円/1件 CO2冷媒ヒートポンプ給湯器 3万円/1件 潜熱回収型給湯器 2万円/1件 助成件数…計 362件 |
| 3 | 太陽光発電設備の設置 [環境政策課] | 予算 33,500 決算 22,869 | 市立第六中学校の校舎屋上に、出力 30kW の太陽光発電システムを設置した。 |
| 4 | 武蔵野市公共施設(市庁舎)省エネ改修事業 [環境政策課] | 予算 21,500 決算 21,105 | 市庁舎の省エネ改修工事を実施した。 ①変圧器 5台を高効率型に更新 ②窓ガラス面に遮熱フィルムを貼付 |
| 5 | 第三期武蔵野市環境基本計画策定事業 [環境政策課] | 予算 5,990 決算 5,836 | 平成 23 年度から平成 27 年度を期間とする「第三期武蔵野市環境基本計画」を策定した。地球温暖化防止と生物多様性保全に向けた中長期の目標を掲げた。 策定にあたり、二酸化炭素の算定・推計及び市域の生物多様性に関する調査を実施した。 |
| 6 | 小規模事業者に対する事業系ごみの排出指導事業 [ごみ総合対策課] | 予算 7,788 決算 7,770 | 市内約 4,000 の事業者に対して、事業系ごみを家庭ごみとして排出している事業者の指導強化を実施し、適正排出率の向上を図った。ルール違反 168 件(年間)。適正排出率は 44%(平成 19 年度)から 83.9%(平成 22 年度調査終了時)へ向上した。 |
| 7 | レジ袋削減の推進 [ごみ総合対策課] | 予算 2,088 決算 992 | レジ袋削減を推進するため、レジ袋使用事業者懇談会を開催し、市内スーパーマーケット 12 社と協定を結んだ。また商店会の協力を求め啓発ポスターを掲出し、エコスタンプラリー等を行うなどレジ袋削減の取り組みを行うことにより、市民の環境に対する意識変化を促してきた。 |
| 8 | 剪定枝葉資源化推進事業 [ごみ総合対策課] | 予算 12,679 決算 9,090 | 一般廃棄物として焼却されている剪定枝葉の一部を堆肥化し有効活用を行い燃やすごみの減量を図った。搬入量 303.07 t |
| 9 | 生ごみパイロット事業 [ごみ総合対策課] | 予算 6,268 決算 4,698 | 将来のごみ処理における分散配置のあり方を探るとともに、生ごみの発生抑制、減量・資源化を推進するため、回収ホッパー、バケツ等を使用した生ごみ収集方法の実証実験を行った。回収量 1,048.2kg 資源化量 326 kg |

| | | | | |
|----|-------------------------------------|----------|------------------------|---|
| 10 | 集団回収事業 [ごみ総合対策課] | 予算 決算 | 44,780 40,174 | 集団回収事業によって、資源の有効活用、ごみの減量及びごみ問題に対する市民の関心を高めるとともに、回収団体の増加が実現できた。 22年度 172 団体 回収量 3,295 t |
| 11 | ごみ減量協働事業 [ごみ総合対策課] | 予算 決算 | 1,500 1,365 | 市民団体「クリーンむさしのを推進する会」の活動を見直しつつ、ごみ減量施策の協働事業を行い、市民への啓発、ごみ減量の推進を図った。「武蔵野ごみニュース」の全戸配布委託2回。フリーマーケットの共催。青空市、桜まつりでのごみ排出指導を行った。 |
| 12 | プラスチック製容器包装(硬質プラ)資源化事業 [ごみ総合対策課] | 予算 決算 | 3,780 2,732 | 分別収集したプラスチック製容器包装のうち、小規模事業者に代わり市町村が再商品化の義務を負う分について、市独自の委託による資源化処理を行い、工程の見学等を通じ、市民の資源化推進の意識向上を図った。22年度は夏休みごみ探検隊、環境美化推進員施設見学会、高校生ごみ意識ミーティング等で見学会を実施した。 |
| 13 | ごみ便利帳の改訂 [ごみ総合対策課] | 予算 決算 | 5,460 5,460 | 環境問題、クリーンセンター建替え事業と併せて、市民にごみの排出方法、減量が全市的に周知されるよう全戸配布を行った。 23年3月末 配布部数 78,150 部 |
| 14 | 塵芥処理事業(収集委託料) [ごみ総合対策課] | 予算 決算 | 1,080,553 1,079,279 | 市内で排出される燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ及び資源物の収集運搬業務を、一部の狭あい路線とふれあい訪問収集対象世帯を除き業務委託により行った。 |
| 15 | クリーンセンター施設改修等工事 [クリーンセンター] | 予算 決算 | 511,119 501,420 | 安定的なごみ処理を図るため、焼却施設・粗大ごみ処理施設等の基幹設備の法定点検及び定期点検整備工事と施設や部品の劣化状況を見ながら計画的に改修工事を実施した。 |
| 16 | 新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業 [クリーンセンター] | 予算 決算 | 52,531 52,607 | 市民、学識経験者等の参加による「施設基本計画策定委員会」により、ごみ処理施設の技術的な検討を行い、施設基本計画提言がまとまった。また、周辺住民の意見を反映するための「施設・周辺整備協議会」により、環境負荷の軽減や周辺地域と調和した施設づくりについて検討を行い、協議会提言がまとまった。 |
| 17 | クリーンセンター周辺道路整備 [クリーンセンター] | 予算 決算 | 43,000 43,517 | クリーンセンターの周辺整備及び交通バリアフリーの一環として、市立第四中学校の生徒等の通行する歩道空間を確保し、エコセメント製のインターロッキングブロックで舗装することにより、安全・安心で環境にも配慮したまちづくりを図ることを目的に、市道第41号線(NTT武蔵野研究開発センタ北側隣接部)の歩道整備を行った。 |

2 緑豊かな都市環境の創出

| | | | | |
|----|-----------------------|----------|--------------------|--|
| 18 | 公園等建設事業 [緑化環境センター] | 予算 決算 | 994,024 976,551 | はなもみじ公園、御殿山二丁目ポケット広場の用地買収及び境南中央公園新設、若竹公園他6か所の改修工事等を行った。 【主な新設、改修等】 境南中央公園新設(平成23年3月31日供用開始) 3,380㎡、若竹公園改修 558㎡、ふじ公園改修 758㎡、かえで公園 750㎡、扶桑通り公園改修 1,682㎡、仲通り公園改修 234㎡、北裏公園改修 216㎡、花の通学路改修 1,774㎡ 【用地購入】 はなもみじ公園拡充用地 1,653㎡、御殿山二丁目ポケット広場新設用地 62㎡ |
|----|-----------------------|----------|--------------------|--|

| | | | | |
|----|------------------------------------|----------|----------------|---|
| 19 | 緑の表彰制度 [緑化環境センター] | 予算 決算 | 536 180 | 将来の緑豊かなまちづくりをめざし、緑の保護・育成に取り組み、地域に貢献している個人、市民団体、地域、企業及び開発事業者等を顕彰することによって、市民ならびに事業者の緑化に対する意識向上を図り、緑化の推進、緑の保全による快適で優しい生活環境の創出を図ることを目的とする。 第2回は「より撮(ど)り みどり フォトコンテスト」をテーマに実施し、37人82点の応募があった。今回初の試みとして、全ての応募作品を市役所1階ロビーに展示し、市民投票を実施、2週間程度の期間で106人の投票があった。選考委員会特別賞5作品を含む12作品の入賞を決定、環境フェスタにて表彰した。 |
| 20 | 未来へ育て！苗木すくすく大木計画 [緑化環境センター] | 予算 決算 | 1,600 1,212 | 緑豊かな都市環境の創出を目指し、減少傾向にある民間の緑を育み、緑の質を高めることを目的し、「一般配布」と「新築記念樹」により、配布方法及び対象を様々な展開していくことによって相乗的な緑化推進、啓発効果を期待する。 【配布実績】 ・新築記念樹 91本(6月、9月、12月、3月)、一般配布 震災のため中止 (配布樹種：ハナミズキ、コブシ、シマトネリコ、イロハモミジ、ヒメシャラ) |
| 21 | 緑ボランティア団体事業助成 [緑化環境センター] | 予算 決算 | 4,000 3,169 | 市民によって構成されたボランティア団体による、市立公園等を拠点とした緑の保全、緑化推進及び公園等の維持に関する活動事業。清掃や花苗の植えつけ等の活動を行った。 【登録団体】 緑ボランティア 21団体 |

3 身近な自然の回復と保全

| | | | | |
|----|---|----------|------------------|---|
| 22 | 橋りょう新設改良事業 [道路課] | 予算 決算 | 68,800 44,279 | 仙川水辺環境整備に伴う橋りょうの新設を行った。 橋りょう(ボックスカルバート型)新設 1箇所 |
| 23 | 二俣尾・武蔵野市民の森の充実と奥多摩の森林整備 [緑化環境センター] | 予算 決算 | 10,817 9,172 | 多摩の森林を保全し活用するための事業を実施した。 二俣尾・武蔵野市民の森の森林整備等委託。森の市民講座、自然観察会の実施。武蔵野自然塾への運営費補助。奥多摩・武蔵野の森の森林整備委託。自然体験館の整備及び維持管理。 |
| 24 | 保存樹林等の指定 [緑化環境センター] | 予算 決算 | 13,408 9,617 | 民有地の緑を守る一環として、環境緑地や保存樹木、保存生垣制度を設け、保存樹木等に指定し、適正な維持管理を図るため、助成金を交付し、維持管理も行った。 【平成22年3月末時点】 保存樹林総数3箇所、保存樹木総数747本、保存生垣総数117箇所 【樹木診断】 6箇所 |
| 25 | 自然環境等実態調査 [緑化環境センター] | 予算 決算 | 9,965 9,314 | 市全域の空中写真の解析と現地調査により、市の緑の現況を多面的に把握するとともに、緑に関する市民意識を調査し、快適な都市環境を実現していくための緑化推進施策の基礎資料とすることを目的として、調査を行った。 (報告書200部、概要版パンフレット2,000部) |

| | | | | |
|----|------------------------------|----------|------------------|---|
| 26 | 仙川水辺環境整備事業 [緑化環境センター] | 予算 決算 | 79,300 37,143 | コンクリート3面張り構造の河川から石積み自然護岸へと改修工事を行った。また、既存整備区間の維持管理、河川工事に伴う各企業者への施設移設補償費の負担を行った。 【内容】 仙川水辺環境整備工事（施工延長約50m：市道第309号線から桜堤公園付近まで） 仙川水辺環境整備業務委託（H23 予定工事桜二の橋付近の護岸整備詳細設計及び年次スケジュール再検討） 仙川緑地外1箇所維持管理委託（仙川緑地及び整備済み河川の維持管理作業委託） |
|----|------------------------------|----------|------------------|---|

4 農業の振興

| | | | | |
|----|---------------------------------|----------|-----------------|---|
| 27 | 武蔵野市農業振興基本計画の見直し [生活経済課] | 予算 決算 | 1,397 1,024 | 平成18年度から27年度までの農業振興基本計画の中に「5年後に実施状況を検証し計画の見直しを行う」ことが定められていることのほかに、農業政策を取り巻く環境に変化が生じたため、必要な見直しを行った。策定委員への報酬・会議諸費用485千円、農家意向調査・市民意識調査のための印刷費・郵送料171千円、報告書作成委託費368千円 |
| 28 | 認定農業者経営改善支援補助事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 2,500 2,610 | 認定農業者の経営改善に要する事業費の一部を補助し、経営改善計画の達成を支援する事業。 7件、事業費16,881千円、補助金2,610千円。 補助制度を利用した農家の機械化等が改善され、作業効率の向上が図られた。 |
| 29 | こうのとりのベジタブル事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 1,500 1,445 | 新生児が誕生した家庭に市内産農産物の引換券（500円券4枚）を贈り地産地消と食育の推進を図る事業。平成19年度開始以来利用件数が伸びている。 1,084人へ4,336枚を配布、利用枚数：2,889枚（JA1,263・アンテナショップ1,009・直売所617）、市内産農産物を求める若い世代が増え、リピーターになっている。 |
| 30 | 登録農地育成事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 2,000 1,804 | 市と農地の保存協定を結んだ農家が農業近代化のための施設整備や農機具購入費用の一部を補助する事業。4件19,836㎡、事業費4,243千円、補助金支出1,804千円。 平成20年度から保存年限を7年から10年に延長し、補助回数を2回に変更したことにより更に農地の保全が図られた。 |
| 31 | 市民農園維持管理事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 7,734 20,511 | 新たに市民農園への農地提供の申し出があり、23年4月開設に向け補正予算により設置工事を行った。これにより平成23年4月から9ヶ所727区画に増え、市民の利用枠拡大が図られた。 |

5 商工業の振興

| | | | | |
|----|-------------------------|----------|------------------|--|
| 32 | 勤労者互助会補助 [生活経済課] | 予算 決算 | 21,337 21,337 | 市内の中小企業の事業主及び勤労者を対象に、福利厚生を図るため、補助金を交付した。勤労者互助会の主な事業内容は、福利厚生事業、共済金給付事業、退職金共済掛金補助事業、健康維持増進に係る事業等 |
|----|-------------------------|----------|------------------|--|

| | | | | |
|----|-------------------------------|----------|------------------|--|
| 33 | 吉祥寺ウェルカムキャンペーン補助 [生活経済課] | 予算 決算 | 7,500 7,500 | 吉祥寺の街をPRし、来街者の増加及び吉祥寺商業の活性化を目指す年2回(春秋)のキャンペーンのイベントに対して補助を行った。 大吉祥抽選会(春) 3,500千円 アニメワンダーランド(秋) 4,000千円 |
| 34 | NEXT-吉祥寺活性化事業補助 [生活経済課] | 予算 決算 | 10,000 10,000 | 吉祥寺駅周辺の大型店舗改修を契機に、更なる地域活性化に資する各種イベント等を開催し、積極的な集客事業を展開した。 「きちじょうじのなつやすみ」 ① アートがいっぱい(7月15日～8月29日) ② 音楽がいっぱい(7月18日～9月9日) |
| 35 | 路線商業活性化総合支援事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 11,600 9,700 | 路線商店街において、複数の商店会が合同で実施する共同事業等の支援及び空き店舗を活用したコミュニティスタジオ事業等を展開していく中で、「にぎわい」「ふれあい」の創出や商品の販売促進を通して、活力ある商店街づくりを目指した。 スタンプ事業 6,600千円、商店街空き店舗活用事業 700千円 |
| 36 | 装飾街路灯維持管理経費補助事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 6,800 362 | 新・元気を出せ商店街事業費補助金では対象とならない商店会が保有している装飾街路灯等の維持管理に係る経費について、一部を補助することにより、商店会活動を支援し来街者の安全確保と商業の振興を図った。 水銀灯交換・修繕工事等 3商店会 |
| 37 | Musashino ごちそうフェスタ [生活経済課] | 予算 決算 | 4,500 4,500 | 武蔵野の食に注目した市民参加型イベントを支援した(主催:武蔵野商工会議所)。お気に入りの飲食・食料品店を投票する「ムサランフェア」投票期間:10月23日(土)～11月23日(火・祝)。「物産・逸品市」11月23日(火・祝)、「武蔵野地粉うどん」(限定500食)の発表、武蔵野の「物産」「逸品」の紹介と販売、「安全・安心 武蔵野の野菜」販売・PRを行った。 |
| 38 | 商工振興事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 13,000 12,234 | 各種商工団体に補助金を交付し商工振興を図った。その他の商工振興事業として、次の事業を実施した。 ①武蔵境ジャズセッションイベント事業(実施委託)2月19日(土)武蔵野スイングホール 来場者数…約480人 委託費995,400円 ②商店街装飾街路灯電気料補助事業 上半期…36商店会分 6,664,800円、下半期…35商店会分 4,574,200円 |
| 39 | 武蔵境活性化委員会補助事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 2,840 2,840 | 「ほっとタウン武蔵境」をキーワードに活性化委員会により計画された事業のうち、ホームページや紙媒体広報物の作成など情報発信にかかる経費及び委員会運営費の補助を行った。(商工会議所補助事業) |
| 40 | 新・元気を出せ商店街事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 81,888 51,720 | 商店街支援事業として、東京都と連携した新・元気を出せ商店街事業を実施し、商店会の活性化を図った。 イベント事業 26件 41,454,000円 活性化事業 5件 10,266,000円 |
| 41 | プレミアム付商品券事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 30,000 29,141 | 依然として厳しい状況に直面している市内経済の活性化のため、平成21年度に引続き、第3弾『元気だせ武蔵野商品券』(プレミアム付商品券)を発行した(発行総額:2億2千万円。プレミアム:額面の10%。発売日 5月18日。) |

| | | | | |
|----|-------------------------|----------|------------------|--|
| 42 | 商店街情報発信事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 6,000 6,000 | 武蔵野市地域経済活性化ビジョンに基づく緊急経済対策の一環として、商店街や商業者等が行う商業活性化事業への支援として、市民協働方式での商店街情報発信にかかる経費を助成することにより、商店街等への顧客吸引力を高めるとともに消費意欲を刺激した。 FM ラジオ番組「みんな大好き！『むさしのラブラブ商店街』」全 32 本、吉祥寺商店会マップ作成、中央地区むチュー新聞発行・ホームページ情報発信、武蔵境 PR 冊子商店街特集号発行等 |
| 43 | Mu～SHOP 事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 3,324 318 | 隔年で武蔵野市商店会連合会が実施する、市内の秀でた店を顕彰し、紹介することで路線商業活性化を図る Mu～SHOP 事業への支援。平成 22 年度は認定の中間年度となるため、Mu～SHOP の周知活動に絞込み事業活動を行った。 |
| 44 | 小規模企業者への補助事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 53,648 53,807 | 市内の小規模企業者及びこれから創業する者に対し、融資のあっせん、利子及び信用保証料の一部補助を行い、中小企業の振興を図った。 利子補給 1,652 件 36,178,905 円 保証料補助 171 件 15,990,905 円 |

6 都市観光の推進

| | | | | |
|----|--------------------------|----------|------------------|--|
| 45 | 観光推進機構設立事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 28,000 26,577 | 本市の都市観光を推進するため、武蔵野市観光推進機構を設立し、観光情報の発信のためのホームページの開設や会員向けメールマガジンの配信、観光マップの作成などを行った。 |
| 46 | 吉祥寺アニメフェスティバル [生活経済課] | 予算 決算 | 2,300 1,850 | 吉祥寺を中心としたアニメ産業が集積する本市の産業振興及び都市観光推進を目的として実施を予定していたが、東日本大震災の影響により中止した。実施予定事業：平成 23 年 3 月 12 日（土）武蔵野・動物かんきょう会議、リーディングシアター、吉祥寺アニメーション映画祭受賞作品上映会、3 月 13 日（日）チェブラーシカとあそぼうスペシャル・なぞらえ屋不思議底七歌、親子プラモデル教室、まちなか LIVE |

7 真に豊かな消費生活の推進

| | | | | |
|----|--------------------------|----------|------------------|--|
| 47 | 消費生活センターの管理運営 [生活経済課] | 予算 決算 | 21,488 18,214 | 消費生活センターの管理、消費生活相談、消費者教育講座、夏休み親子教室、消費生活展、消費者団体への助成、悪質商法被害防止街頭キャンペーン（震災の影響で中止）、その他消費者被害の未然防止啓発事業を実施した。また、消費者行政活性化補助金を活用し、長期研修による相談員の資質向上を図るとともに、施設内の備品・設備機器や全戸配布等による広報・周知活動の充実を図った。 |
|----|--------------------------|----------|------------------|--|

8 防犯性の高い快適なまちづくり

| | | | | |
|----|--|----------|--------------------|---|
| 48 | 生活安全対策（ホワイトイーグル・ブルーキャップ・市民安全パトロール隊） [安全対策課] | 予算 決算 | 104,086 101,825 | ホワイトイーグル及び市民安全パトロール隊による安全パトロールを実施。ホワイトイーグルは車両3台・6人体制で、市民安全パトロール隊は4期7年目を迎え、68人体制で運用した。 ブルーキャップによるつきまとい勧誘等の指導は11人体制で運用した。12月には関係団体、市民と共に環境浄化推進特別パトロールを実施した。 また、市民安全大会、生活安全会議及び生活安全対策推進協議会を開催した。 |
| 49 | 害虫等対策・狂犬病予防事業 [環境政策課] | 予算 決算 | 5,147 3,765 | スズメ蜂等駆除110件、カラスの巣の撤去等30件、ネズミ侵入防止対策説明会等4回、ネズミ侵入防止対策支援事業7件実施した。 犬の新規登録341件、再交付48件、注射済票交付3,523件（うち再交付1件） マナープレートの配布、動物愛護展・犬のしつけ方教室開催等を通じて動物愛護啓発の推進、飼い主のマナー向上等を図った。 |
| 50 | 地域環境協働事業 [環境政策課] | 予算 決算 | 500 497 | 市民との協働を基本に生活公害（猫による環境衛生・公害面等）を改善するために、地域猫対策の協働事業に対して補助を行い、生活環境の改善に取り組んだ。 |
| 51 | 公害対策・調査・処理 [環境政策課] | 予算 決算 | 14,594 12,935 | 公害苦情相談の受付と対応を通じて、公害発生の未然予防を図り、市内環境の保全を行った。常時監視と随時調査による環境状況の把握と確認、工場や指定作業場に対する指導、その他公害要因対象者への指導等を行った。苦情の受付件数は計248件（大気15件、騒音41件、振動10件、悪臭10件、その他172件） |
| 52 | 落書き対策消去事業 [環境政策課] | 予算 決算 | 1,837 706 | 落書き消去活動を普及し、市民、商店会、ボランティア団体による自主的な街の安全と美化活動を支援した。落書き消しちやい隊を3回実施し、落書き対策としてコーティング塗装費用の一部補助を4件行った（1件につき上限15万円）。 |

9 防災態勢の強化

| | | | | |
|----|---------------------------------------|----------|------------------|--|
| 53 | 全国瞬時警報システム（J-ALERT）の導入 [安全対策課] | 予算 決算 | 8,366 8,295 | 弾道ミサイル攻撃やゲリラ攻撃などの有事情報に関する情報や緊急地震速報といった対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、人工衛星を用いて情報を送信し、市区町村の防災行政無線等を自動起動させ、国からの緊急情報を住民に伝達する。本市では3月末に整備を完了し運用を開始した。 |
| 54 | 災害対策職員住宅 [安全対策課] | 予算 決算 | 16,712 19,497 | 災害時等における職員の初動態勢の強化を図るため、空白地帯であった西部地区の境南町三丁目に災害対策職員住宅9戸を確保した。 |
| 55 | 消防ポンプ自動車の購入 [防災課] | 予算 決算 | 44,000 42,840 | 国・都の排ガス規制に対応するため、消防団第3分団、第5分団の消防ポンプ自動車2台を、機動的にも安全性にも優れているパワーゲートが装備された車両に買い替えた。 |
| 56 | 可搬式ポンプの導入 [防災課] | 予算 決算 | 1,492 1,363 | 狭あい道路など消防ポンプ車の通行困難区域での消防活動の向上を図るため、可搬式ポンプを消防団第1分団、第4分団に配備した。 |

| | | | | |
|----|-------------------------|----------|--------------------|---|
| 57 | 防火水槽新設工事 [防災課] | 予算 決算 | 18,000 15,540 | 震災時の水利不足地域を解消し、地域の防災基盤を強化するため、境南中央公園に100㎡級耐震性貯水槽の新設工事を行った。 |
| 58 | 災害拠点病院機能向上費補助金 [防災課] | 予算 決算 | 150,000 150,000 | 武蔵野赤十字病院のさらなる災害拠点病院機能の向上を図るため、施設・設備拡充費用の一部を補助した。 |
| 59 | 災害用トイレの整備 [防災課] | 予算 決算 | 16,179 16,329 | 避難所の機能充実を図るため、市立第一小学校にマンホール式の災害用トイレを設置し、広域避難場所である都立武蔵野中央公園に災害用トイレ設備を整備した。 |
| 60 | ヘリサインの整備 [防災課] | 予算 決算 | 1,000 977 | 大規模災害発生時に全国から集結する応援航空部隊の迅速かつ効率的な救援活動を可能にするため、桜野小学校と本宿小学校にヘリサインを整備した。 |
| 61 | デジタルMCA無線の導入 [防災課] | 予算 決算 | 41,262 33,906 | 電波法の改正に伴い、地域防災無線をデジタルMCA無線に更新し、災害時の通信手段を確保した。 |

10 市民活動の活性化と協働の推進

| | | | | |
|----|--|----------|--------------------|--|
| 62 | コミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動 [市民協働推進課] | 予算 決算 | 267,056 256,832 | 市民による自発的なコミュニティづくりが活発に行われるよう、コミュニティセンターの管理運営を、指定管理者である16のコミュニティ協議会に委託した。また、コミュニティづくりのための安全で快適な空間を確保するため、館の維持管理と基盤整備を行った。 |
| 63 | 八幡町コミュニティセンターの建替え [市民協働推進課] | 予算 決算 | 28,694 16,657 | 第6期武蔵野市コミュニティ市民委員会による提言を受け、八幡町コミュニティセンターの建替えに向けた事前調査、基本設計を行い、実施設計に着手した。 |

11 男女共同参画社会の実現

| | | | | |
|----|--|----------|------------------|--|
| 64 | 男女共同参画推進市民会議 [市民協働推進課] | 予算 決算 | 1,006 843 | 施策を着実に推進するため、前年度に引き続き男女共同参画推進市民会議を設置し、第二次男女共同参画計画の推進状況や優先課題の検討を行った。検討結果をまとめた意見書を11月に市長へ提出した。 |
| 65 | むさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営 [市民協働推進課] | 予算 決算 | 10,247 10,263 | 市の施策の推進拠点として、むさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営を運営協議会に委託した。運営協議会を支援するとともに、前年度に引き続き専門的人材としてセンター長を配置し、機能整備や人材育成を目的に各種事業を実施し、一層の活性化を図った。 |
| 66 | 男女共同参画施策事業 [市民協働推進課] | 予算 決算 | 4,635 3,631 | 男女共同参画情報誌「まなこ」を引き続き発行し、市民への情報提供と啓発を行うとともに、男女共同参画講演会や取材と記事のレッスン等の講座、男女共同参画推進団体の活動支援などの事業を実施した。 |

12 都市・国際交流の推進

| | | | | |
|----|---------------------------------|----------|------------------|---|
| 67 | 友好都市アンテナショップ 運営事業 [生活経済課] | 予算 決算 | 4,103 4,692 | 友好都市のPRや物産品の販売、観光情報の発信などのために設置したアンテナショップを拠点に、友好交流、友好親善及び地元商店街の活性化を図った。 |
| 68 | ルーマニア交流事業 [交流事業課] | 予算 決算 | 12,341 11,418 | 1998年からブラショフ市に設置されている日本武蔵野センターを拠点に、日本語教室や日本文化紹介イベントなどを継続して開催した。 なお、平成22年12月からセンター所長はブラショフ市民とし、武蔵野市からの職員派遣を1人減員するなど、センター運営の現地化を進めている。 |
| 69 | 国際交流協会事業 [交流事業課] | 予算 決算 | 64,789 70,174 | 平成元年に設立され、在住外国人の生活・コミュニケーション支援を通じて、多文化共生の地域づくりを目指している武蔵野市国際交流協会の活動を援助した。 また、平成21年4月の一般財団法人化に引き続いて、平成22年4月に公益財団法人化され、そのために必要な支援を行った。 |
| 70 | 友好都市交流事業 [交流事業課] | 予算 決算 | 6,683 4,381 | 国内友好都市間の交流ツアーや友好都市宿泊施設の利用助成を通じて、市民レベルでの交流促進を図った。今年度は南砺市、安曇野市、長岡市、大崎上島町への市民ツアーを行うとともに、南砺市、安曇野市からの市民交流団を受け入れた。 |

13 生涯スポーツの振興

| | | | | |
|----|-------------------------------------|----------|--------------|---|
| 71 | 第68回国民体育大会(東京国体)開催準備 [生涯学習スポーツ課] | 予算 決算 | 1,000 982 | スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)開催の正式決定に伴い、8月に武蔵野市実行委員会、2月に庁内推進会議、3月に専門委員会を設立した。同大会は、平成25年度の開催で、本市はバスケットボール競技、ラグビーフットボール競技、ウォーキング、グランドソフトボール競技の会場地となる。 |
|----|-------------------------------------|----------|--------------|---|

14 特色ある市民文化の発展

| | | | | |
|----|---------------------------------|----------|------------------|---|
| 72 | 平和啓発事業 [市民協働推進課] | 予算 決算 | 3,786 2,582 | 「平和の日」制定など平和施策について検討を行う「平和施策懇談会」を9回開催し、平成23年1月に提言を受けた。また「市民平和フォーラム」を11月20日に開催し市民約300人が参加した。さらに非核都市宣言平和事業実行委員会とともに、武蔵野の空襲や広島・長崎の被爆など写真パネル展や講演会を行い、平和の尊さを市民へ発信した。 |
| 73 | かたらいの道 市民スペースの管理運営 [市民協働推進課] | 予算 決算 | 10,044 8,761 | 市民の活動、交流等の促進、市民及び地域社会の文化の向上と福祉の増進のため、三鷹駅北口に建設された大型マンション内に設置した「かたらいの道 市民スペース」の管理運営を行った。 |
| 74 | 文化施設改修工事 [市民協働推進課] | 予算 決算 | 69,519 41,959 | 市民文化会館…屋上防水改修工事、冷温水発生器機密系統工事 市民文化会館・芸能劇場・公会堂…地上デジタル対応CATV設備設置工事 |

IV 都市基盤

1 地域の特色を活かすまちづくりの推進

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

| No. | 事業名 | 金額(千円) | | 施策の概要と成果 |
|-----|---------------------------------|----------|------------------|---|
| 1 | 都市マスタープランの見直し [まちづくり推進課] | 予算 決算 | 9,609 7,631 | 社会情勢の変化等に対応するため、平成21年度に引続き都市マスタープラン改定委員会を開催し、市民意見を把握しながら都市マスタープラン見直しの検討を進め、平成22年10月に改定委員会が市長へ答申書を提出した。その後、答申の内容を基本として市の原案を作成し、まちづくり条例に基づき手続きを進め、平成23年4月1日付けで「武蔵野市都市計画マスタープラン」として改定した。 |
| 2 | 景観道路事業 [道路課] | 予算 決算 | 15,100 10,547 | 早期事業化路線の着手に先立ち、2路線(市道第2号線、308号線)について、道路プランを策定し、住民説明会を行った。また、同2路線について電線類地中化の詳細設計を行った。 |

2 利用者の視点と発想を重視するまちづくり

| | | | | |
|---|---------------------------------|----------|--------------------|---|
| 3 | バリアフリー基本構想の改定 [まちづくり推進課] | 予算 決算 | 8,792 8,764 | 平成15年に策定した武蔵野市交通バリアフリー基本構想が目標年次である平成22年を迎えたこと及びバリアフリー新法が施行されたことを踏まえ、平成23年度以降のバリアフリー事業の基本方針等を定めるため、基本構想を改定した(平成23年4月改定)。 改定にあたっては、学識経験者、障がい者・高齢者団体関係者、商工関係者、行政関係者で構成された委員会を設置し、現地視察を実施したほか、中間評価や平成21年度に実施した利用者アンケート・ヒアリング等の意見を踏まえつつ、特定事業者と調整を図りながら議論を行った。 |
| 4 | 環境舗装事業 [道路課] | 予算 決算 | 240,600 188,515 | 生活道路改修の際に透水性舗装を施工し、雨水の流出抑制や地下水涵養を行った。また、舗装面の温度低減を目的に遮熱性舗装を施工した。 15路線 施工延長3,428m L形工2,083m 舗装面積12,462㎡ |

3 上水道の整備・充実

| | | | | |
|---|------------------------|----------|--------------------|--|
| 5 | 配水管網整備の推進 [工務課] | 予算 決算 | 481,905 368,630 | 平時はもとより災害時にも安全でおいしい水の安定供給を確保するために、新設及び耐震性に劣る配水管(铸铁管、ビニール管)を耐震性ダクタイル铸铁管に取替え、配水管網の整備を図った。 【施工内容】 配水管新設工事 (6件) 675m 配水管(铸铁管)改良工事 (1件) 157m 配水補助管改良工事 (15件) 4,604m |
| 6 | 浄水場施設改良工事 [工務課] | 予算 決算 | 189,745 176,085 | 円滑な水の運用を図るため、経年劣化した設備を更新し、安全でおいしい水の安定供給を図った。 【工事内容】 第一浄水場1系配水ポンプ更新工事(電気設備) 第一浄水場1系配水ポンプ更新工事(機械設備) 第一浄水場配水ポンプ盤等設置工事 外4件 |

4 下水道の再整備

| | | | | |
|----|----------------------------|----------|------------------------|---|
| 7 | 雨水浸透施設助成事業 [下水道課] | 予算 決算 | 5,000 1,662 | 雨水浸透施設を設置する者に対して助成金を交付し、雨水浸透施設の設置促進を通じ治水、利水、水循環の推進を図った。 申請件数 13 件 浸透ます 57 基 |
| 8 | 臭気対策支援事業 [下水道課] | 予算 決算 | 1,500 500 | 悪臭の原因となる地下排水槽（ビルピット）の、改修改善に係る費用の一部を助成し、臭気の軽減を図った。 申請件数 1 件 |
| 9 | 公共下水道管渠現況調査・清掃委託 [下水道課] | 予算 決算 | 52,000 39,060 | 下水道本管、取付管の損傷や土砂等の堆積物を調査及び清掃し、道路陥没事故や閉塞による悪臭等を未然に防ぐことに努めた。管きよ等清掃 10,044m、管きよ等調査 19,765m |
| 10 | 合流式下水道改善事業 [下水道課] | 予算 決算 | 1,256,231 1,252,167 | 神田川及び善福寺川流域の水環境等の向上並びに浸水被害の低減を図るため、本市から排出される汚濁雨水を一時貯留する貯留施設を東町地区法政跡地等に設置するための用地取得及び実施設計等を実施した。用地取得 1853.41 m ² |
| 11 | 雨水貯留浸透施設設置事業 [下水道課] | 予算 決算 | 46,700 48,349 | 大雨による浸水被害を軽減するため、市立第五小学校に 500 m ³ の貯留浸透施設を設置した。 |
| 12 | 公共下水道建設事業 [下水道課] | 予算 決算 | 235,579 221,793 | 鉄道連続立体交差事業に伴う側道（武鉄中付 2 号、3 号線）などの管きよ築造工事及び公共汚水ます増設工事を行った。 |
| 13 | 下水道建設負担金 [下水道課] | 予算 決算 | 80,854 66,276 | 森ヶ崎水再生センター及び付属施設の建設に伴う負担金。 |

5 道路ネットワークの整備

| | | | | |
|----|-----------------------------------|----------|--------------------|--|
| 14 | 道路新設改良事業 [道路課] | 予算 決算 | 182,419 158,450 | 経年劣化した主要道路等を改修整備した。 8 路線 施工延長 1,583m L 形工 326m 舗装面積 9,097 m ² |
| 15 | 都市計画道路 3・4・27 号線事業 [道路課] | 予算 決算 | 24,151 7,010 | 武蔵野プレイスの平成 23 年 7 月オープンに合わせて暫定整備工事（H22 年度分）を行った。 |
| 16 | 都市計画道路 7・6・1 号線（御殿山通り）事業 [道路課] | 予算 決算 | 238,403 231,517 | 玉川上水沿いの御殿山通りの三鷹橋～むらさき橋間を拡幅整備及び用地買収した。用地買収実績 3 件 174.04 m ² 事業化に向け道路予備設計を行った。 |
| 17 | 区画道路整備事業 [道路課] | 予算 決算 | 143,548 142,104 | 事業進捗中の区画道路 14 路線等の用地買収を推進した。 用地買収実績 3 件 230.92 m ² 市道第 40・60 号線及び市道第 240 号線の道路整備プランを策定し、住民説明会等を行った。 |
| 18 | 狭あい道路拡幅整備事業 [道路課] | 予算 決算 | 60,538 44,971 | 建築行政と連携して狭あい道路を拡幅し、地域の交通の円滑性、防災性等の向上を図った。 整備延長 2,413m 整備面積 562 m ² |

6 安全で円滑な交通環境の整備

| | | | | |
|----|--|----------|--------------------|--|
| 19 | 市民交通計画等の改定 [交通対策課] | 予算 決算 | 5,000 4,578 | 「武蔵野市地域公共交通活性化協議会」と「武蔵野市自転車等駐車対策協議会」の機能を活用した新たな推進体制を組織し、市内組織である「市民交通計画推進委員会」と相互に連携を図りながら、法定計画である「第9次武蔵野市交通安全計画」を組み入れた「第3次武蔵野市市民交通計画」を策定した。 また、計画期間の中間年にあたることから、現状や平成21年度に策定した「三鷹周辺自転車等駐車場整備計画」を踏まえ、「武蔵野市自転車等総合計画」の見直しを行った。 |
| 20 | 歩道上の利用登録駐輪場閉鎖に伴う放置防止指導の強化 [交通対策課] | 予算 決算 | 46,011 46,010 | 吉祥寺大通り及び中央大通りの歩道上にあった利用登録駐輪場を閉鎖し、放置防止指導員を配置した。同時に同規模の駐輪場を整備・誘導することにより、歩道上の放置自転車が減少した。 放置自転車台数（10月平日晴天11時） 吉祥寺駅周辺：平成21年度 808台⇒平成22年度 390台（▲418台） 三鷹駅周辺：平成21年度 177台⇒平成22年度 66台（▲111台） |
| 21 | 吉祥寺大通り北自転車駐車場の整備 [交通対策課] | 予算 決算 | 277,970 821,019 | 吉祥寺駅周辺の放置自転車対策として、吉祥寺大通り北自転車駐車を整備した。 開設日：平成23年3月10日 収容台数：自転車695台（一時利用113台＋定期利用582台）、原付38台 その他：2時間無料制度（一時利用） 利用状況：（定期利用）582台満車、（一時利用）平均203台/日、利用率180% |
| 22 | 助成制度による民営公共自転車等駐車場整備 [交通対策課] | 予算 決算 | 30,100 30,000 | 株式会社アトレが実施したアトレ吉祥寺御殿山駐輪場の増設工事（約640台増設）に対し、整備費の一部を助成した。 開設日：平成23年3月1日 収容台数（増設後）：約1,500台 利用状況：（定期利用）500～600台、（一時利用）平均440台/日 |
| 23 | ムーバス運行事業 [交通対策課] | 予算 決算 | 67,343 73,307 | 市内にあるバス交通空白・不便地域の解消を図るため、ムーバスを運行した。 ムーバス利用実績 年間乗客数／1日平均乗客数 総合計 2,585,690人／7,128.5人 吉祥寺東循環 360,786人／988.5人 吉祥寺北西循環 599,037人／1,641.2人 境南東循環 194,178人／536.4人 境南西循環 286,311人／797.5人 三鷹駅北西循環 298,025人／816.5人 境西循環 272,509人／759.1人 境・東小金井線 189,104人／526.8人 三鷹・吉祥寺循環 261,856人／717.4人 境・三鷹循環 123,884人／345.1人 パークアンドバスライド駐車場「ムーパーク」 収容台数：71台 年間利用台数：21,409台 1日平均：58.7台（土日休1日平均：76.4台） |

| | | | | |
|----|---|----------|------------------|--|
| 24 | 交通事業者・市・国の協働による三鷹駅北口駅前広場の交通機能の改善 [交通対策課] | 予算 決算 | 20,100 29,000 | 公共交通利用者の利便性向上を図りつつ、車両と歩行者の錯綜を改善するため、バス乗降車場を再編し、老朽化したバス停留所並びに上屋を改修した。 公共交通利用者に分かりやすい総合案内板の整備については、「武蔵野市公共サインに関する庁内検討会議」と連携を図りながら、広場東側の整備に合わせて整備する。 |
|----|---|----------|------------------|--|

7 住宅施策の総合的展開

| | | | | |
|----|---|----------|------------------|--|
| 25 | 家具転倒防止器具普及事業 [防災課] | 予算 決算 | 52,081 52,057 | 東京都市長会が実施する家具転倒防止器具助成事業を活用し、家具転倒防止器具の購入・取付けを希望する世帯に対し、一定金額まで無料で配布・設置を行い、震災時の安全性の向上を図った。(器具のみ2,814件・取付含む407件) |
| 26 | 都営武蔵野緑町二丁目第3アパートシルバーピアL S A派遣等事業 [住宅対策課] | 予算 決算 | 5,337 3,023 | 都営武蔵野緑町二丁目第3アパートに新設されたシルバーピアにL S A (ライフサポートアドバイザー) を常駐させ、入居高齢者の生活の質の向上を図った。 |
| 27 | 武蔵野市第三次住宅マスタープラン [住宅対策課] | 予算 決算 | 7,151 6,610 | 住宅施策を総合的かつ体系的に展開するための方向性を示し、さまざまな主体との連携と協働による住宅・住環境づくりを進めていくための基本的指針となる第三次住宅マスタープランを策定した。 |

8 住宅とまちの防災対策の推進

| | | | | |
|----|-------------------------------------|----------|-----------------|---|
| 28 | 民間住宅耐震診断助成事業 [住宅対策課] | 予算 決算 | 8,000 2,540 | 建築物の所有者が耐震診断を受けた場合、その費用の一部を助成した。 民間住宅：木造24件、非木造2件、マンション0件 民間建築物：木造1件、非木造0件 |
| 29 | 民間住宅耐震改修助成事業 [住宅対策課] | 予算 決算 | 10,800 9,451 | 昭和56年以前に建築された住宅で、市が定める診断機関による耐震診断の結果に基づき耐震改修を行う場合に、その費用の一部を助成した。 木造19件、非木造0件、マンション0件 |
| 30 | 建築物耐震性相談事業 [住宅対策課] | 予算 決算 | 1,512 756 | 市内建築物所有者の建築物に係る耐震性等構造上の不安を和らげること及び安全に対する意識の啓発を目的とする無料相談窓口を開設した。 窓口開設日数15日 相談件数25件 |
| 31 | 安全・にぎわいのまちづくり促進型耐震助成 [住宅対策課] | 予算 決算 | 9,800 0 | 災害に対する安全性の確保や商業活性化が望まれる商業地の安全で賑わいのあるまちづくりを推進するため、商業地域又は近隣商業地域で昭和56年以前に建てられた民間非住宅建物の耐震補強や建替えなどの費用の一部を助成する制度。 助成件数0件 |

9 吉祥寺圏の都市基盤整備

| | | | | |
|----|---|----|-------|--|
| 32 | 吉祥寺方式物流対策委員会 運営支援 [吉祥寺まちづくり事務所] | 予算 | 5,000 | 吉祥寺のまちづくりの一環として立ち上げた吉祥寺方式物流対策委員会の自立と継続的な活動に向けて運営支援を行い、委員会を4回開催し、路上駐停車車両調査及びPR活動を目的とした荷捌きルール徹底週間を2回実施した。また、3月からは吉祥寺大通り北自転車等駐車場に併設した共同集配センターを利用し、共同集配送事業を開始した。 |
| | | 決算 | 5,901 | |

10 武蔵境圏の都市基盤整備

| | | | | |
|----|------------------------------------|----|---------|--|
| 33 | 鉄道連続立体交差事業 [まちづくり推進課] | 予算 | 374,095 | 東京都に対し連続立体交差事業負担金を支出した。 西武多摩川線：平成18年12月に高架化工事完了 JR中央線：三鷹～国分寺間高架化工事のうち、下り線は平成19年7月に完了。上り線は平成21年1月に完了。国分寺～立川間高架化工事のうち、下り線は平成21年1月に完了。上り線は平成22年11月に完了。引き続き駅舎工事を施工中。今後は、環境側道の整備を行い、平成25年度末に事業完了予定。 |
| | | 決算 | 277,798 | |
| 34 | 都市計画道路3・3・23号線事業 [武蔵境開発事務所] | 予算 | 4,000 | 武蔵境駅北口広場の形状やバス停配置などを検討するため関係機関と協議を行った。 |
| | | 決算 | 3,969 | |
| 35 | 武蔵境地区区画道路整備事業 [武蔵境開発事務所] | 予算 | 4,500 | 市道第291号線(第3工区)の道路整備実施に向けた、電線共同溝工事等の調整・設計及び道路境界標の設置を行った。また、市道第269号線の道路予定地の維持管理工事、市道第261号線付近の道路仮整備等を行った。 |
| | | 決算 | 4,215 | |
| 36 | 武蔵境駅舎周辺環境整備計画 [武蔵境開発事務所] | 予算 | 76,500 | 駅舎連続施設(北側)整備に伴う構造等の再検討及び道路上建築物の設置許可に関わる関係機関との調整を行った。また、武蔵境駅舎・広場・街づくり協議会への側面支援を実施した。 |
| | | 決算 | 6,479 | |
| 37 | 都道123号線拡幅整備事業 [武蔵境開発事務所] | 予算 | 25,000 | 都道123号境調布線を東京都の「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」で拡幅整備する。継続路線(南北)は、高架下区間の電線共同溝の詳細設計を行った。また、新規路線(東西)は、道路の法指定に伴う道路予備設計を行った。 |
| | | 決算 | 14,716 | |
| 38 | 武鉄中付第1～3号線の無電柱化 [道路課] | 予算 | 27,260 | 武鉄中付第1～3号線の道路プランを策定し、住民説明会を行った。 また、全線の電線類地中化予備設計及び武鉄中付第2号線の道路詳細設計を行った。 |
| | | 決算 | 13,537 | |

V 行・財政

1 市民パートナーシップの積極的推進

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

| No. | 事業名 | 金額(千円) | 施策の概要と成果 |
|-----|---------------------------------|------------------------|---|
| 1 | 分権と協働の時代における自治体運営の検討 [企画調整課] | 予算 999 決算 1,104 | 「武蔵野市の市民自治の未来を考える～新しいパートナーシップのかたち～」と題した連続講座(第2回、第3回)、「これからの地域コミュニティを考える～市民の社会貢献と地域コミュニティ～」と題したシンポジウムを開催した。 参加者数…連続講座第2回19人・第3回24人、シンポジウム127人 |
| 2 | 市民と市長のタウンミーティング [市民協働推進課] | 予算 1,586 決算 917 | 市民が主役の市政を進めるため、地域の課題や市政全般について意見交換を行うタウンミーティングを、コミュニティ協議会と共催で年3回開催した。また、特定の課題について意見交換を行うテーマ別タウンミーティングを2回、青空タウンミーティングを2回開催した。 |
| 3 | 市民意識調査の実施 [市民協働推進課] | 予算 3,465 決算 3,462 | 市民意識の動向を把握し、行政運営や第五期基本構想・長期計画策定の基礎資料とするため、定期的世論調査を実施した。 回収率47.8%(対象者総数3,500、回収完了者数1,672) |
| 4 | 市民協働サロンの運営 [市民協働推進課] | 予算 11,962 決算 11,961 | 行政との協働や、NPO・市民活動団体同士の交流等を促進する拠点として、管理運営を中間支援を目的としたNPO・市民活動団体に委託した。 市民協働サロン延利用人数 7,177人 市民協働サロン印刷機利用延団体数 980団体 |

2 市民ニーズに応えるサービスの提供

| | | | |
|---|--------------------------|------------------------|--|
| 5 | 国勢調査 [総務課] | 予算 93,079 決算 76,565 | 統計法に基づき、基幹統計である国勢調査を受託し実施した。 ○国勢調査世帯数71,220 ○提出済み世帯数52,956 ○回収率74.4%(平成23年1月31日現在) 3月31日に実施本部の任務を終了した。なお、確定数値は10月頃公表予定である。 |
| 6 | 電子自治体共同運営 [情報管理課・管財課] | 予算 11,358 決算 11,356 | 東京都と市区町村の共同運営による電子申請サービス及び電子調達サービスを利用し、電子申請については誕生記念樹、胃がん・子宮がん検診、骨粗しょう症予防教室、オルガンワンダーランドの申込など20の手続を電子申請化するとともに、携帯電話による申請にも対応し、754件の申込があった。電子調達については工事49件、委託139件、物品96件、計284件(不調含む)の電子入札を行った。 |

3 積極的な情報発信と情報セキュリティの徹底

| | | | |
|---|-------------------|----------------------|---|
| 7 | ホームページ運営 [広報課] | 予算 6,922 決算 9,300 | ホームページによる市政情報の提供や緊急情報の表示方法の変更など、災害時対応を行った。また、見やすさ分かりやすさ、アクセシビリティ、災害等重大情報の提供などの改善を目的として平成23年8月にホームページ更改を予定しているため、その準備として、調達仕様書の作成委託、再構築設計業務委託などを行った。 |
|---|-------------------|----------------------|---|

| | | | | |
|----|-------------------------------------|----------|------------------|--|
| 8 | 季刊誌発行 [広報課] | 予算 決算 | 13,279 12,422 | 市内在住・在学の中学生への配布も開始した。費用は広告ページを設けることでこれに充て、内容も一部中学生向けコーナーを設けるなどリニューアルを行った。 |
| 9 | インターネットによる議会中継（録画による配信等） [議会事務局] | 予算 決算 | 6,958 6,214 | 広く市民に議会審議の様態を伝えるため、本会議、予算・決算特別委員会のインターネット中継を行った。 アクセス数 8,147件 録画 3,035件 |
| 10 | 議会だより発行 [議会事務局] | 予算 決算 | 5,616 4,225 | 年4回発行（4色刷、延22頁/332,400部印刷、延323,052部全戸配布） |

4 健全な財政運営の維持

| | | | | |
|----|-----------------------------|----------|--------------------|--|
| 11 | 施設整備計画立案のための基礎資料作成 [施設課] | 予算 決算 | 17,517 16,108 | ファシリティマネジメントの手法を活用して総合的・計画的に施設整備を実施するため、施設に関する基礎情報の収集及びデータ化を行った。 |
| 12 | 公共施設保全整備 [施設課] | 予算 決算 | 271,430 319,631 | 劣化調査の結果に基づき保全整備を実施し、施設の機能維持及び延命化を図った。 市民文化会館、市庁舎、コミセン、消防分団、保健センター、保育園、市営住宅、小学校、中学校、市民会館、調理場 |

5 時代の変化に対応する柔軟な行政運営

| | | | | |
|----|---------------------------|----------|--------------------|--|
| 13 | 第五期基本構想・長期計画策定 [企画調整課] | 予算 決算 | 12,634 6,079 | 平成24年度から平成33年度までの10年間を計画期間とする、第五期基本構想・長期計画の策定にあたり、以下の会議、委員会等を設置、開催した。 ・武蔵野市の将来を考える市民会議（第1回～第5回） ・無作為抽出市民ワークショップ（2回（各2日間）） ・関係団体市民会議（1回4分野） ・圏域別市民会議（三圏域各1回） ・策定委員会（第1回～第7回） ・庁内推進本部（第1回～第4回） |
| 14 | 市民雇用創出事業 [人事課・教育企画課] | 予算 決算 | 731,301 695,700 | 市の業務を見直し、ワークシェアリングと求職者の生活支援を目的に市民の雇用を創出するという観点から嘱託職員の任用を行った。職員の定数適正化計画の実施とあわせ、庁内各課との調整を行い、中高年齢者及び障がい者を対象として、平成23年3月1日現在で36課74職種240人の嘱託職員を任用した（教育委員会を含む）。また、平成23年3月1日現在、本市独自の緊急雇用対策として、14課15職種22人の嘱託職員を任用した。 |
| 15 | 総合事務支援システムの再構築 [情報管理課] | 予算 決算 | 77,526 66,643 | 総合事務支援システムについては、平成22年4月に文書管理システム、7月にグループウェアシステム（職員ポータル）、人事給与システム及び庶務事務システムが新規稼働し、再構築が完了した。 |

Ⅱ 平成 22 年度基金の運用状況を示す書類

地方自治法第 241 条第 5 項の規定に基づき、平成 22 年度の基金の運用状況を報告します。

武蔵野市長 邑上守正

1 平成22年度国民健康保険高額療養費貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

| 繰越現金 | 貸付未収金 | 未払金 | 計 (運用金) |
|-----------|-------|-----|-----------|
| 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

| 月別 | 収入額 | | 支出額 | | 差引残額 |
|--------|-----|-----------|-----|----|-----------|
| | 収入額 | 累計 | 支出額 | 累計 | |
| 前年度繰越額 | | 5,000,000 | | 0 | 5,000,000 |
| 4 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 5 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 6 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 7 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 8 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 9 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 10 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 11 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 12 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 1 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 2 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 3 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 計 | 0 | | 0 | | |

イ 利息収入の状況

(単位：円)

| | |
|---------|-------|
| 上半期預金利息 | 997 |
| 下半期預金利息 | 536 |
| 計 | 1,533 |

(注) 上記の利息収入は、一般会計(15財、1財、2利、1利)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

| 未 収 金 | 未 払 金 | 差引債権額 |
|-------|-------|-------|
| 0 | 0 | 0 |

(3) 運用結果

(単位：円)

| 区 分 | 次年度繰越額 |
|---------|-----------|
| 現 金 | 5,000,000 |
| 貸付未収金 | 0 |
| 未 払 金 | 0 |
| 計 (運用金) | 5,000,000 |

2 平成22年度国民健康保険出産費資金貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

| 繰越現金 | 貸付未収金 | 未払金 | 計 (運用金) |
|-----------|-------|-----|-----------|
| 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

| 月別 | 収入額 | | 支出額 | | 差引残額 |
|--------|-----|-----------|-----|----|-----------|
| | 収入額 | 累計 | 支出額 | 累計 | |
| 前年度繰越額 | | 5,000,000 | | 0 | 5,000,000 |
| 4 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 5 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 6 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 7 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 8 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 9 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 10 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 11 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 12 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 1 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 2 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 3 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 計 | 0 | | 0 | | |

イ 利息収入の状況

(単位：円)

| | |
|---------|-------|
| 上半期預金利息 | 997 |
| 下半期預金利息 | 536 |
| 計 | 1,533 |

(注) 上記の利息収入は、一般会計(15財、1財、2利、1利)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

| 未 収 金 | 未 払 金 | 差引債権額 |
|-------|-------|-------|
| 0 | 0 | 0 |

(3) 運用結果

(単位：円)

| 区 分 | 次年度繰越額 |
|---------|-----------|
| 現 金 | 5,000,000 |
| 貸付未収金 | 0 |
| 未 払 金 | 0 |
| 計 (運用金) | 5,000,000 |

3 平成22年度高額介護等サービス費貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

| 繰越現金 | 貸付未収金 | 未払金 | 計 (運用金) |
|-----------|-------|-----|-----------|
| 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

| 月別 | 収入額 | | 支出額 | | 差引残額 |
|--------|-----|-----------|-----|----|-----------|
| | 収入額 | 累計 | 支出額 | 累計 | |
| 前年度繰越額 | | 5,000,000 | | 0 | 5,000,000 |
| 4 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 5 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 6 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 7 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 8 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 9 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 10 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 11 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 12 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 1 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 2 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 3 | 0 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 計 | 0 | | 0 | | |

イ 利子収入の状況

(単位：円)

| | |
|---------|-------|
| 上半期預金利子 | 799 |
| 下半期預金利子 | 430 |
| 計 | 1,229 |

(注) 上記の利子収入は、一般会計(15財、1財、2利、1利)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

| 未 収 金 | 未 払 金 | 差引債権額 |
|-------|-------|-------|
| 0 | 0 | 0 |

(3) 運用結果

(単位：円)

| 区 分 | 次年度繰越額 |
|---------|-----------|
| 現 金 | 5,000,000 |
| 貸付未収金 | 0 |
| 未 払 金 | 0 |
| 計 (運用金) | 5,000,000 |

